入学試験問題
参考解答集
2021

東北芸術工科大学

04　2022 年度 東北芸術工科大学 入学試験一覧（予定）
06　2021 年度入学試験結果データ
15　総合型選抜入学試験［専願型］
17　実技
　　18　小論文
　　27　デッサン
　　35　水彩画
　　41　油彩画
49　教科科目
　　50　英語
　　60　国語
　　68　数学
72　教科科目解答

入学者の受け入れ方針（アドミッションポリシー）

東北芸術工科大学は、「藝術立国」という理念のもと、“ 人と自然を思いやる想像力と、社会を変革する創造力を身につけ、自らの意思で未来を切り開くことができる人材の育成 ” を教育目標としています。芸術学部及びデザイン工学部の入学者選抜では、それぞれの専門領域に即して多面的・総合的に評価するために、次の観点から入学希望者を募集します。

①芸術やデザインに興味と熱意を持つ人
②高等学校までの学習および経験により培われた基本的な知識を持ち、
　主体的に学修できる人
③社会に興味を持ち、仲間とともに切磋琢磨して成長できる人

芸術学部

芸術は、美を求める純粋な心と知に基づくものであり、人々に夢や希望を与え、新たな価値を生み出す力があります。多様性を学び取る柔軟な姿勢と、自らの創造力や感性を粘り強く磨き続ける意志を身につけ、芸術の力を社会の真の豊かさに向けて活かそうとする入学希望者を求めます。

デザイン工学部

デザインとは、見た目を装飾するだけではなく、今や「デザイン思考」として、人間社会の改善や進化に必要不可欠な技術となっています。自己表現や趣味にとどまらず、広く社会をイメージし、何のためにデザインを活用するべきなのか。モノやコトに対するデザインを学び、社会に積極参加しようとする入学希望者を求めます。

2022年度 東北芸術工科大学 入学試験一覧（予定）

	総合型選抜入試［専願体験型］		総合型選抜入試［併願型］	
出願登録期間	2021年9月15日（水）～29日（水）	募集人員	2021年11月15日（月）～26日（金）	募集人員
試験日	10月9日（土）または 10月10日（日） ※学科・コースにより実施日が異なります。		12月12日（日）	
合格発表	11月1日（月）		12月22日（水）	
入学手続締切〈第一次〉 **※入学金納付期限**	11月15日（月）		2022年1月12日（水）	
入学手続締切〈第二次〉 **※授業料等納付期限**	12月17日（金）		2022年2月18日（金） ※申請により最長で3/24まで延納が可能	
試験会場	山形		山形／東京	
美術科 **日本画コース**	①体験授業（日本画の写生体験） ・筆法体験 日本画の特徴である筆の体験講座を行う ・写生 決められたエリア内（屋内）で、各自写生を行う ②上記体験を通じて感じたこと、考えたことを文章化し、振り返りシートの提出する ③面接（1 グループ 2～3 人で行う）	79	面接・書類審査 ※1 ＋ 次から1 科目： 「水彩画」※3 「油彩画」※4 「デッサン」	40
美術科 **洋画コース**	①体験授業（静物油彩）油彩制作におけるポイントレクチャーを行い、各自油彩制作を行う ②面接（1 グループ 4～5 人で行い、当日制作した作品をもとにグループでのミニ講評会を兼ねる）			
美術科 **版画コース**	①体験授業（銅版画、木版画制作体験）版画の工程や作業のポイントについて指導をうけながら制作を行う ②ミニ講評会 体験授業終了後ミニ講評会を実施し、体験授業を通じて気づいたことをミニレポートに書く ③面接		面接・書類審査 ※1 ＋ 次から1 科目： 「小論文」 「デッサン」 「水彩画」※3 「油彩画」※4 「国語」 「数学」 「英語」	
美術科 **彫刻コース**	①体験授業（彫刻制作体験）大学周辺を散策し、収集した自然物やスケッチをもとに各自が自由な発想で粘土を使って立体作品を制作する ②振り返り 制作物の意図や感想を発表する ③面接			
美術科 **工芸コース**	①体験授業（立体造形物制作体験）モチーフの成り立ち、作り方の基本など工程ごとに学びながら粘土を使 って制作。制作物を基に各自発想し、デザインを形にする立体構成を行う ②振り返り 制作後、工夫した点などをシートに記入する ③面接			
美術科 **テキスタイルコース**	①体験授業（テキスタイル制作体験）染色に関する講義を経て工程を学び染色作業を行う。また、染色した布の色をもとに複数の色を使用した配色デザインを行う ②振り返り 完成後に一人ずつテーマと工夫した点を発表する ③面接			
美術科 **総合美術コース**	①体験授業（アートワークショップ体験）アートワークショップを体験後、それを活用したイベント企画をグループで考え発表する ②面接			
文芸学科	①体験授業 教員による説明を経て、グループ単位で昔話をリライト（書き換え）する体験型演習を受講する ②作文 ①で行ったグループワークについて執筆する（400 字程度） ③面接	22		7
文化財保存修復学科	①体験授業 文化財保存修復に関するミニ講義を受講した後、ミニレポートを提出する ②面接	13		3
歴史遺産学科	①体験授業（模擬授業とグループディスカッション） ・模擬授業にて身近で具体的な歴史遺産（考古遺跡や伝統的建造物など）をひとつ取り上げ、教員が説明を行う ・7、8 名程度のグループに分かれ上記歴史遺産の利活用を話し合う ・講義の感想とグループで話したことを講義ノート（A4 一枚程度）としてまとめ、面接冒頭に 3 分程度で話す ②面接	13		6
プロダクト **デザイン学科**	①体験授業 身のまわりのモノの機能や形態を観察し、その理由を考える。前半のグループワークではそれらの優れた点や改善すべき点を共有し、後半の個人ワークでは、対象となるモノの応用展開例を提案する ②面接	32		13
建築・環境 **デザイン学科**	①体験授業 建築、まち、自然や環境問題に関するミニ講義を受講後、講義に対する自身の意見をミニレポートにまとめる ②面接	20		14
グラフィック **デザイン学科**	①体験授業 デザインに関する模擬授業を受けた後、その内容を基にグループで発表を行う ②面接	41		14
映像学科	①創作体験 1 つのキーワードから独自の映像作品をイメージし、その世界観をアイディアスケッチと文章（200 字以内）で表現する ②グループ内での発表 上記制作物を基に数人のグループで発表を行う ③面接	32		14
企画構想学科	①体験授業 ・ミニ講義 課題解決型ワークショップの進め方に関する講義を受講する ・課題解決型ワークショップ 提示された課題に対して、グループに分かれて企画を考え発表を行う ・振り返りシート ミニ講義とワークショップを振り返り、整理した内容を記入する ②面接	26		10
コミュニティ **デザイン学科**	①体験授業 ・地域課題解決型ワークショップ 地域の社会課題を解決するためのアイデアを話し合う ・プレゼンテーション 上記アイデアをグループごとに発表する ・振り返り 自身の気づきや考えについてレポートを作成する ②面接	16		6

※1「書類審査」とは、「高等学校調査書」及び「出願書類」による総合評価 です。 ※2 募集人員は 、一般選抜入試（前期）、大学入学共通テスト利用入試（1科目利用）及び（2科目利用前期）を合算したものです。

下記の内容は、2021 年 4 月 1 日現在の予定です。詳細は、別途発行の「東北芸術工科大学 2022 年度 学生募集要項」で必ず確認してください。

<table>
<tr><th>一般選抜入試
［前期］</th><th colspan="2">大学入学共通テスト利用
入試［1 科目利用］</th><th colspan="2">大学入学共通テスト利用
入試［2 科目利用 前期］</th><th colspan="2">一般選抜入試
［専願型］</th><th>一般選抜入試
［面接型］</th><th>一般選抜入試
［後期］</th><th colspan="2">大学入学共通テスト利用
入試［2科目利用 後期］</th></tr>
<tr><td colspan="2">2022年1月5日（水）～21日（金）</td><td colspan="2">2022年1月5日（水）
～ 24日（月）</td><td rowspan="6">募集人員
※2</td><td>2022年1月5日（水）
～14日（金）</td><td rowspan="6">募集人員</td><td>2022年2月18日（金）
～25日（金）</td><td colspan="2">2022年2月18日（金）
～ 3月7日（月）</td><td rowspan="6">募集人員</td></tr>
<tr><td colspan="2">1月31日（月）</td><td colspan="2">個別試験なし</td><td>1月31日（月）</td><td>3月15日（火）
接続テスト
3/3または3/4 ※5</td><td>3月15日（火）</td><td>個別試験なし</td></tr>
<tr><td colspan="4">2月17日（木）</td><td>2月17日（木）</td><td colspan="3">3月21日（祝・月）</td></tr>
<tr><td colspan="4">3月3日（木）</td><td>3月3日（木）</td><td colspan="3" rowspan="2">3月24日（木）</td></tr>
<tr><td colspan="4">3月10日（木）
※申請により3/24まで延納が可能</td><td>3月10日（木）</td></tr>
<tr><td colspan="2">山形／東京／札幌／仙台</td><td colspan="2">—</td><td>山形</td><td>オンライン</td><td>山形／東京</td><td colspan="2">—</td></tr>
<tr><td>次から1 科目：
「国語」
「数学」
「英語」
＋
次から1 科目：
「水彩画」※3
「油彩画」※4</td><td>大学入学共通テストの
成績上位1 科目
＋
次から1 科目：
「水彩画」※3
「油彩画」※4</td><td colspan="2">—</td><td rowspan="2">41</td><td>面接・書類審査 ※1
＋
「水彩画」</td><td rowspan="2">9</td><td>—</td><td>次から1 科目：
「水彩画」※3
「油彩画」※4</td><td colspan="2">—</td><td rowspan="2">若干名</td></tr>
<tr><td>①・②のいずれか

①次から1 科目：
「国語」
「数学」
「英語」
＋
次から1 科目：
「小論文」
「デッサン」
「水彩画」※3
「油彩画」※4

②次から2 科目：
「国語」
「数学」
「英語」</td><td>大学入学共通テストの
成績上位1 科目
＋
次から1 科目：
「小論文」
「デッサン」
「水彩画」※3
「油彩画」※4</td><td colspan="2">大学入学共通テストの
成績上位2 科目</td><td>面接・書類審査 ※1
＋
「油彩画」</td><td>①・②・③のいずれか

①面接・書類審査
※1
＋
次から1 科目：
「小論文」
「デッサン」
「水彩画」
「油彩画」

②面接・書類審査
※1
＋
次から1 科目：
「国語」
「数学」
「英語」

③面接・書類審査
※1
＋
大学入学
共通テストの
成績上位1 科目</td><td>面接（オンライン）
・書類審査 ※1</td><td>次から1 科目：
「小論文」
「デッサン」
「水彩画」※3
「油彩画」※4</td><td colspan="2">大学入学共通テストの
成績上位2 科目</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2"></td><td>11</td><td>11</td><td>2</td><td></td><td></td><td colspan="2"></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2"></td><td>8</td><td></td><td>2</td><td></td><td></td><td colspan="2"></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2"></td><td>11</td><td></td><td>2</td><td></td><td></td><td colspan="2"></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2"></td><td>15</td><td></td><td>2</td><td></td><td></td><td colspan="2"></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2"></td><td>14</td><td></td><td>2</td><td></td><td></td><td colspan="2"></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2"></td><td>11</td><td></td><td>2</td><td></td><td></td><td colspan="2"></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2"></td><td>14</td><td></td><td>2</td><td></td><td></td><td colspan="2"></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2"></td><td>12</td><td></td><td>2</td><td></td><td></td><td colspan="2"></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2"></td><td>6</td><td></td><td>2</td><td></td><td></td><td colspan="2"></td><td></td></tr>
</table>

※3 水彩画を選択する場合は第一志望から第三志望のいずれかで、必ず日本画コースを志望してください。 ※4 油彩画を選択する場合は第一志望から第三志望のいずれかで、必ず洋画コースを志望してください。
※5 一般選抜入試［面接型］はオンラインで実施するため、試験日の前にインターネットの通信接続環境の確認および Zoom の動作確認のための「接続テスト」を行います。実施日については出願後メールにてお知らせします。

2021年度 入学試験結果データ

総合型選抜入学試験［専願型］

学部・学科・コース	募集人員	志願者数	受験者数 (a)	合格者数 (b)	入学者数	受験倍率 (a)/(b)
芸術学部	**127**	**160**	**160**	**135**	**134**	**1.2**
文化財保存修復学科	13	25	25	18	17	1.4
歴史遺産学科	13	14	14	14	14	1.0
美術科	79	92	92	77	77	1.2
日本画コース		23	23	22	22	1.0
洋画コース		39	39	27	27	1.4
版画コース		6	6	4	4	1.5
彫刻コース		6	6	6	6	1.0
工芸コース		4	4	4	4	1.0
テキスタイルコース		6	6	6	6	1.0
総合美術コース		8	8	8	8	1.0
文芸学科	22	29	29	26	26	1.1
デザイン工学部	**167**	**291**	**283**	**181**	**181**	**1.6**
プロダクトデザイン学科	32	57	56	38	38	1.5
建築・環境デザイン学科	20	25	25	22	22	1.1
グラフィックデザイン学科	41	87	84	42	42	2.0
映像学科	32	66	62	35	35	1.8
企画構想学科	26	41	41	30	30	1.4
コミュニティデザイン学科	16	15	15	14	14	1.1
全学計	**294**	**451**	**443**	**316**	**315**	**1.4**

総合型選抜入学試験［併願型］

学部・学科・コース	募集人員	志願者数	受験者数 (a)	合格者数 (b)	入学者数	受験倍率 (a)/(b)
芸術学部	**56**	**174**	**168**	**83**	**71**	**2.0**
文化財保存修復学科	3	12	10	4	4	2.5
歴史遺産学科	6	13	12	9	9	1.3
美術科	40	135	132	65	54	2.0
日本画コース		21	19	14	11	1.4
洋画コース		38	38	17	13	2.2
版画コース		15	15	5	4	3.0
彫刻コース		10	9	3	3	3.0
工芸コース		21	21	11	10	1.9
テキスタイルコース		6	6	3	2	2.0
総合美術コース		24	24	12	11	2.0
文芸学科	7	14	14	5	4	2.8
デザイン工学部	**71**	**309**	**292**	**109**	**101**	**2.7**
プロダクトデザイン学科	13	58	53	15	14	3.5
建築・環境デザイン学科	14	40	37	27	27	1.4
グラフィックデザイン学科	14	84	79	22	18	3.6
映像学科	14	64	62	21	20	3.0
企画構想学科	10	39	38	15	15	2.5
コミュニティデザイン学科	6	24	23	9	7	2.6
全学計	**127**	**483**	**460**	**192**	**172**	**2.4**

※学校推薦型選抜入試・外国人留学生特別選抜入試を含む。

一般選抜入学試験［前期］

学部・学科・コース	募集人員	志願者数	受験者数 (a)	合格者数 (b)	入学者数	受験倍率 (a)/(b)
芸術学部	**71**	**150**	**150**	**60**	**20**	**2.5**
文化財保存修復学科	8	19	19	4	1	4.8
歴史遺産学科	11	17	17	7	3	2.4
美術科	41	95	95	40	15	2.4
日本画コース		28	28	11	4	2.5
洋画コース		27	27	8	3	3.4
版画コース		9	9	2	0	4.5
彫刻コース		4	4	3	1	1.3
工芸コース		11	11	9	6	1.2
テキスタイルコース		7	7	4	1	1.8
総合美術コース		9	9	3	0	3.0
文芸学科	11	19	19	9	1	2.1
デザイン工学部	**72**	**258**	**257**	**18**	**3**	**14.3**
プロダクトデザイン学科	15	49	49	5	1	9.8
建築・環境デザイン学科	14	39	39	3	1	13.0
グラフィックデザイン学科	11	58	58	3	0	19.3
映像学科	14	51	51	1	0	51.0
企画構想学科	12	37	37	0	0	-
コミュニティデザイン学科	6	24	23	6	1	3.8
全学計	**143**	**408**	**407**	**78**	**23**	**5.2**

※募集人員は一般入学試験（前期）、大学入学共通テスト利用入試（1科目利用）、及び大学入学共通テスト利用入試（2科目利用前期）を合算した人数。

一般選抜入学試験［専願型］

学部・学科・コース	募集人員	志願者数	受験者数 (a)	合格者数 (b)	入学者数	受験倍率 (a)/(b)
芸術学部	**15**	**13**	**13**	**10**	**10**	**1.3**
文化財保存修復学科	2	1	1	1	1	1.0
歴史遺産学科	2	0	0	0	0	-
美術科	9	9	9	6	6	1.5
日本画コース		2	2	1	1	2.0
洋画コース		1	1	0	0	-
版画コース		1	1	1	1	1.0
彫刻コース		0	0	0	0	-
工芸コース		1	1	1	1	1.0
テキスタイルコース		1	1	1	1	1.0
総合美術コース		3	3	2	2	1.5
文芸学科	2	3	3	3	3	1.0
デザイン工学部	**12**	**27**	**27**	**16**	**16**	**1.7**
プロダクトデザイン学科	2	3	3	2	2	1.5
建築・環境デザイン学科	2	4	4	3	3	1.3
グラフィックデザイン学科	2	4	4	2	2	2.0
映像学科	2	9	9	4	4	2.3
企画構想学科	2	5	5	3	3	1.7
コミュニティデザイン学科	2	2	2	2	2	1.0
全学計	**27**	**40**	**40**	**26**	**26**	**1.5**

大学入学共通テスト利用入学試験［1科目利用］

学部・学科・コース	募集人員	志願者数	受験者数 (a)	合格者数 (b)	入学者数	受験倍率 (a)/(b)
芸術学部	**71**	**127**	**127**	**50**	**3**	**2.5**
文化財保存修復学科	8	12	12	1	0	12.0
歴史遺産学科	11	7	7	3	0	2.3
美術科	41	99	99	41	2	2.4
日本画コース		29	29	9	0	3.2
洋画コース		31	31	10	1	3.1
版画コース		8	8	3	0	2.7
彫刻コース		5	5	4	0	1.3
工芸コース		13	13	11	1	1.2
テキスタイルコース		4	4	1	0	4.0
総合美術コース		9	9	3	0	3.0
文芸学科	11	9	9	5	1	1.8
デザイン工学部	**72**	**156**	**156**	**18**	**5**	**8.7**
プロダクトデザイン学科	15	32	32	5	1	6.4
建築・環境デザイン学科	14	13	13	1	1	13.0
グラフィックデザイン学科	11	39	39	3	1	13.0
映像学科	14	31	31	3	1	10.3
企画構想学科	12	25	25	1	1	25.0
コミュニティデザイン学科	6	16	16	5	0	3.2
全学計	**143**	**283**	**283**	**68**	**8**	**4.2**

※募集人員は一般入学試験（前期）、大学入学共通テスト利用入試（1科目利用）、及び大学入学共通テスト利用入試（2科目利用前期）を合算した人数。

大学入学共通テスト利用入学試験［2科目利用前期］

学部・学科・コース	募集人員	志願者数	受験者数 (a)	合格者数 (b)	入学者数	受験倍率 (a)/(b)
芸術学部	**71**	**113**	**113**	**47**	**9**	**2.4**
文化財保存修復学科	8	26	26	6	1	4.3
歴史遺産学科	11	25	25	14	2	1.8
美術科	41	43	43	18	3	2.4
版画コース		5	5	3	0	1.7
彫刻コース		4	4	4	1	1.0
工芸コース		15	15	7	1	2.1
テキスタイルコース		6	6	4	1	1.5
総合美術コース		13	13	0	0	-
文芸学科	11	19	19	9	3	2.1
デザイン工学部	**72**	**266**	**266**	**46**	**7**	**5.8**
プロダクトデザイン学科	15	50	50	11	1	4.5
建築・環境デザイン学科	14	41	41	5	0	8.2
グラフィックデザイン学科	11	63	63	9	2	7.0
映像学科	14	43	43	5	2	8.6
企画構想学科	12	40	40	5	0	8.0
コミュニティデザイン学科	6	29	29	11	2	2.6
全学計	**143**	**379**	**379**	**93**	**16**	**4.1**

※募集人員は一般入学試験（前期）、大学入学共通テスト利用入試（1科目利用）、及び大学入学共通テスト利用入試（2科目利用前期）を合算した人数。
※美術科日本画コース、美術科洋画コースは本試験での募集がありません。

一般選抜入学試験［後期］

学部・学科・コース	募集人員	志願者数	受験者数 (a)	合格者数 (b)	入学者数	受験倍率 (a)/(b)
芸術学部	若干名	**77**	**71**	**26**	**20**	**2.7**
文化財保存修復学科		11	11	3	2	3.7
歴史遺産学科		7	7	4	4	1.8
美術科		52	46	17	12	2.7
日本画コース		11	10	4	3	2.5
洋画コース		14	13	2	2	6.5
版画コース		3	2	2	1	1.0
彫刻コース		6	6	2	1	3.0
工芸コース		9	8	5	3	1.6
テキスタイルコース		2	2	1	1	2.0
総合美術コース		7	5	1	1	5.0
文芸学科		7	7	2	2	3.5
デザイン工学部		**98**	**94**	**18**	**12**	**5.2**
プロダクトデザイン学科		17	16	7	5	2.3
建築・環境デザイン学科		10	9	0	0	-
グラフィックデザイン学科		18	17	3	2	5.7
映像学科		23	22	1	1	22.0
企画構想学科		19	19	2	0	9.5
コミュニティデザイン学科		11	11	5	4	2.2
全学計		**175**	**165**	**44**	**32**	**3.8**

※募集人員は一般入学試験（後期）、及び大学入学共通テスト利用入試（2科目利用後期）を合算した人数。

大学入学共通テスト利用入学試験［2科目利用後期］

学部・学科・コース	募集人員	志願者数	受験者数 (a)	合格者数 (b)	入学者数	受験倍率 (a)/(b)
芸術学部	若干名	**34**	**34**	**15**	**4**	**2.3**
文化財保存修復学科		10	10	3	0	3.3
歴史遺産学科		9	9	4	2	2.3
美術科		11	11	5	1	2.2
版画コース		1	1	1	0	1.0
彫刻コース		3	3	1	0	3.0
工芸コース		4	4	3	1	1.3
テキスタイルコース		1	1	0	0	-
総合美術コース		2	2	0	0	-
文芸学科		4	4	3	1	1.3
デザイン工学部		**64**	**64**	**13**	**1**	**4.9**
プロダクトデザイン学科		10	10	3	1	3.3
建築・環境デザイン学科		7	7	2	0	3.5
グラフィックデザイン学科		14	14	3	0	4.7
映像学科		14	14	1	0	14.0
企画構想学科		14	14	2	0	7.0
コミュニティデザイン学科		5	5	2	0	2.5
全学計		**98**	**98**	**28**	**5**	**3.5**

※募集人員は一般入学試験（後期）、及び大学入学共通テスト利用入試（2科目利用後期）を合算した人数。
※美術科日本画コース、美術科洋画コースは本試験での募集がありません。

全試験区分の総計

学部・学科・コース	募集人員	志願者数	受験者数 (a)	合格者数 (b)	入学者数	受験倍率 (a)/(b)
芸術学部	**269**	**848**	**836**	**426**	**271**	**2.0**
文化財保存修復学科	26	116	114	40	26	2.9
歴史遺産学科	32	92	91	55	34	1.7
美術科	169	536	527	269	170	2.0
日本画コース		114	111	61	41	1.8
洋画コース		150	149	64	46	2.3
版画コース		48	47	21	10	2.2
彫刻コース		38	37	23	12	1.6
工芸コース		78	77	51	27	1.5
テキスタイルコース		33	33	20	12	1.7
総合美術コース		75	73	29	22	2.5
文芸学科	42	104	104	62	41	1.7
デザイン工学部	**324**	**1,469**	**1,439**	**419**	**326**	**3.4**
プロダクトデザイン学科	62	276	269	86	63	3.1
建築・環境デザイン学科	52	179	175	63	54	2.8
グラフィックデザイン学科	68	367	358	87	67	4.1
映像学科	62	301	294	71	63	4.1
企画構想学科	50	220	219	58	49	3.8
コミュニティデザイン学科	30	126	124	54	30	2.3
全学計	**593**	**2,317**	**2,275**	**845**	**597**	**2.7**

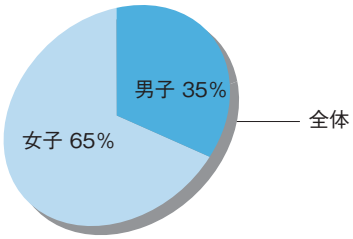
男女別結果（全試験区分の総計）

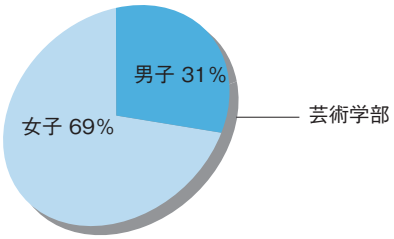
学部・学科	志願者			受験者			合格者			入学者		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
芸術学部	**295**	**553**	**848**	**293**	**543**	**836**	**131**	**295**	**426**	**85**	**186**	**271**
文化財保存修復学科	33	83	116	33	81	114	9	31	40	6	20	26
歴史遺産学科	51	41	92	51	40	91	32	23	55	23	11	34
美術科	163	373	536	161	366	527	69	200	269	45	125	170
文芸学科	48	56	104	48	56	104	21	41	62	11	30	41
デザイン工学部	**580**	**889**	**1,469**	**559**	**880**	**1,439**	**148**	**271**	**419**	**123**	**203**	**326**
プロダクトデザイン学科	139	137	276	133	136	269	48	38	86	34	29	63
建築・環境デザイン学科	87	92	179	83	92	175	33	30	63	30	24	54
グラフィックデザイン学科	115	252	367	111	247	358	13	74	87	10	57	67
映像学科	136	165	301	131	163	294	29	42	71	26	37	63
企画構想学科	73	147	220	72	147	219	12	46	58	12	37	49
コミュニティデザイン学科	30	96	126	29	95	124	13	41	54	11	19	30
計	**875**	**1,442**	**2,317**	**852**	**1,423**	**2,275**	**279**	**566**	**845**	**208**	**389**	**597**

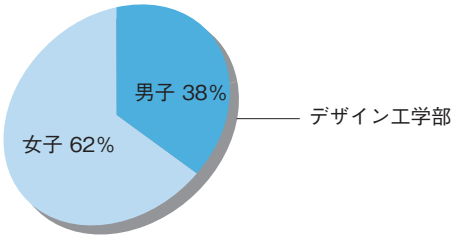
現役既卒別結果（全試験区分の総計）

学部・学科	志願者			受験者			合格者			入学者		
	現役	既卒	計	現役	既卒	計	現役	既卒	計	現役	既卒	計
芸術学部	**656**	**192**	**848**	**646**	**190**	**836**	**341**	**85**	**426**	**236**	**35**	**271**
文化財保存修復学科	94	22	116	92	22	114	32	8	40	23	3	26
歴史遺産学科	80	12	92	79	12	91	51	4	55	32	2	34
美術科	391	145	536	384	143	527	201	68	269	143	27	170
文芸学科	91	13	104	91	13	104	57	5	62	38	3	41
デザイン工学部	**1,325**	**144**	**1,469**	**1,300**	**139**	**1,439**	**396**	**23**	**419**	**314**	**12**	**326**
プロダクトデザイン学科	242	34	276	237	32	269	78	8	86	60	3	63
建築・環境デザイン学科	156	23	179	152	23	175	63	0	63	54	0	54
グラフィックデザイン学科	328	39	367	321	37	358	80	7	87	65	2	67
映像学科	265	36	301	259	35	294	67	4	71	60	3	63
企画構想学科	212	8	220	211	8	219	56	2	58	47	2	49
コミュニティデザイン学科	122	4	126	120	4	124	52	2	54	28	2	30
計	**1,981**	**336**	**2,317**	**1,946**	**329**	**2,275**	**737**	**108**	**845**	**550**	**47**	**597**

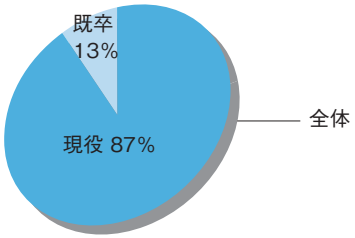
入学者構成比（男女別）

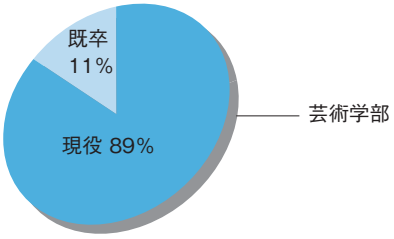


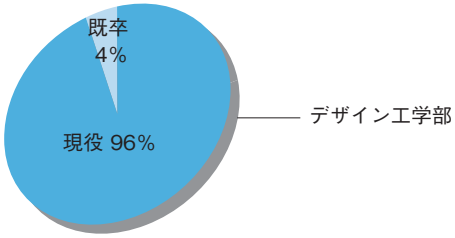




入学者構成比（現役・既卒別）





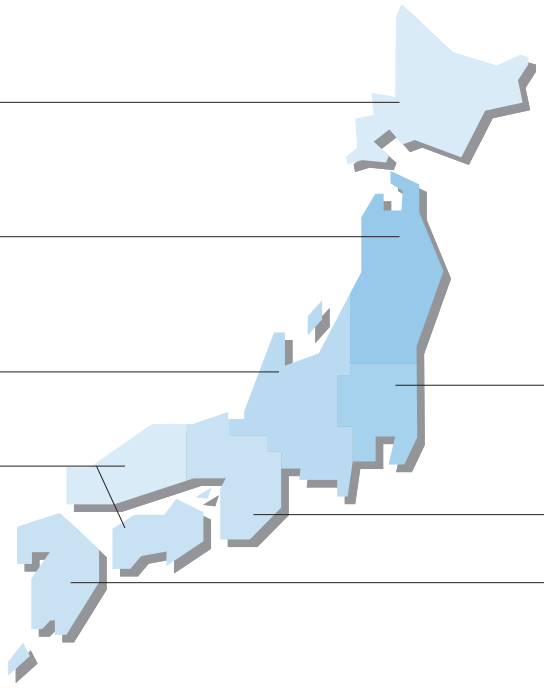


都道府県別結果（全試験区分の総計）

地方	都道府県名	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
北海道	北海道	86	86	29	20
東北	青森県	61	58	20	13
	岩手県	104	102	46	33
	宮城県	543	538	184	142
	秋田県	71	71	21	14
	山形県	548	540	214	167
	福島県	172	171	70	53
	東北計	**1,499**	**1,480**	**555**	**422**
関東	茨城県	66	66	27	21
	栃木県	44	38	16	12
	群馬県	30	30	12	4
	埼玉県	87	87	34	20
	千葉県	45	45	19	11
	東京都	71	71	26	14
	神奈川県	33	32	8	4
	関東計	**376**	**369**	**142**	**86**
中部	新潟県	84	84	25	15
	富山県	0	0	0	0
	石川県	3	3	1	1
	福井県	0	0	0	0
	山梨県	4	4	1	1
	長野県	43	42	18	12
	岐阜県	16	16	7	3
	静岡県	47	44	13	5
	愛知県	39	39	12	4
	三重県	4	1	1	1
	中部計	**240**	**233**	**78**	**42**

地方	都道府県名	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
近畿	滋賀県	3	3	0	0
	京都府	9	9	3	1
	大阪府	5	5	4	2
	兵庫県	6	6	2	0
	奈良県	0	0	0	0
	和歌山県	0	0	0	0
	近畿計	**23**	**23**	**9**	**3**
中国	鳥取県	0	0	0	0
	島根県	0	0	0	0
	岡山県	14	14	4	4
	広島県	0	0	0	0
	山口県	0	0	0	0
	中国計	**14**	**14**	**4**	**4**
四国	徳島県	1	1	1	1
	香川県	12	10	3	2
	愛媛県	1	1	0	0
	高知県	1	0	0	0
	四国計	**15**	**12**	**4**	**3**
九州	福岡県	3	3	1	1
	佐賀県	0	0	0	0
	長崎県	3	3	1	0
	熊本県	0	0	0	0
	大分県	0	0	0	0
	宮崎県	1	1	1	1
	鹿児島県	5	5	0	0
	沖縄県	17	14	6	4
	九州計	**29**	**26**	**9**	**6**
検定		**24**	**24**	**10**	**6**
海外		**11**	**8**	**5**	**5**
合計		**2,317**	**2,275**	**845**	**597**

入学者構成比（都道府県別）



北海道　20名　3.4%

東北　422名　70.7%

中部　42名　7.0%

中国・四国　7名　1.2%

検定等　6名　1.0%
海外　5名　0.8%

関東　86名　14.4%

近畿　3名　0.5%

九州　6名　1.0%

志願者出身高校一覧（全試験区分）

北海道

札幌月寒、札幌北陵、札幌東商業、有朋、札幌藻岩、奥尻、岩見沢緑陵、滝川、南富良野、おといねっぷ美術工芸、北見柏陽、室蘭栄、室蘭清水丘、札幌新川、札幌平岸、札幌厚別、札幌国際情報、北海、札幌光星、札幌大谷、クラーク記念国際、北海道芸術

青森県

青森、青森西、青森東、青森北、青森南、青森中央、弘前、弘前中央、八戸、八戸東、八戸西、七戸、三沢、大湊、三戸、北斗、六戸、弘前学院聖愛、青森山田、八戸工業大学第二

岩手県

盛岡第一、盛岡第二、盛岡第三、盛岡第四、盛岡北、杜陵、花巻南、花北青雲、黒沢尻工業、水沢、水沢工業、一関第一、一関第二、高田、大船渡、遠野、久慈、福岡、盛岡南、不来方、盛岡白百合学園、盛岡大学附属、盛岡中央、一関学院

宮城県

仙台高専、仙台第二、仙台第三、仙台向山、古川、角田、佐沼、白石、石巻、塩釜、名取、泉、多賀城、岩ケ崎、宮城第一、仙台二華、仙台三桜、石巻好文館、古川黎明、涌谷、石巻北、農業、本吉響、工業、石巻工業、仙台南、仙台、仙台工業、名取北、泉松陵、仙台西、泉館山、宮城広瀬、利府、石巻西、富谷、宮城野、仙台青陵、美田園、桜坂、気仙沼、仙台育英学園、東北、東北学院、東北学院榴ケ岡、宮城学院、仙台白百合学園、尚絅学院、常盤木学園、聖和学園、東北生活文化大学、仙台大学附属明成、聖ウルスラ学院英智、聖ドミニコ学院、仙台城南、古川学園、飛鳥未来きずな

秋田県

秋田北、花輪、能代、由利、大曲、横手、増田、湯沢、秋田中央、秋田西、男鹿工業、横手清陵学院、湯沢翔北、ノースアジア大学明桜、聖霊女子短期大学付属

山形県

山形東、山形南、山形西、山形北、山形工業、山形中央、山形市立商業、天童、寒河江、寒河江工業、谷地、左沢、東桜学館、新庄北、新庄南、米沢興譲館、米沢東、米沢工業、高畠、長井、小国、鶴岡南、鶴岡北、鶴岡工業、鶴岡工業高専、酒田東、酒田西、南陽、上山明新館、霞城学園、鶴岡中央、酒田光陵、村山産業、山形養護、山形城北、山形学院、日本大学山形、山形明正、山本学園、東海大学山形、新庄東、九里学園、米沢中央、羽黒、酒田南

福島県

橘、福島西、福島商業、安達、二本松工業、安積、安積黎明、郡山東、郡山商業、須賀川、須賀川桐陽、白河、白河旭、葵、会津工業、喜多方、磐城、磐城桜が丘、いわき総合、好間、相馬、原町、郡山北工業、郡山、福島東、福島南、いわき光洋、光南、ふたば未来学園、福島（私立）、福島成蹊、郡山女子大学附属、日本大学東北、石川（私立）、磐城緑蔭、いわき秀英

茨城県

日立第一、水戸第二、水戸第三、笠間、鉾田第一、玉造工業、下館第二、水海道第一、古河第三、牛久、日立北、取手松陽、茨城キリスト教学園、水城、鹿島学園、翔洋学園、第一学院（高萩校）、ルネサンス

栃木県

宇都宮南、宇都宮中央女子、鹿沼、今市、石橋、足利工業、真岡女子、真岡工業、茂木、大田原、黒磯、矢板東、宇都宮北、鹿沼東、上三川、さくら清修、作新学院、宇都宮文星女子

群馬県

桐生、伊勢崎清明、太田（県立）、太田女子、西邑楽、高崎経済大学附属、常磐

埼玉県

熊谷、松山、春日部女子、不動岡、大宮、越谷北、進修館、越生、浦和（市立）、新座総合技術、伊奈学園総合、大宮光陵、芸術総合、聖望学園、淑徳与野、本庄東、浦和学院、開智、川越東、自由の森学園

千葉県

千葉南、八千代、薬園台、船橋啓明、松戸（県立）、柏南、我孫子、四街道、成田国際、東金、長生、千葉（市立）、稲毛、柏中央、沼南高柳、幕張総合、東京学館船橋、わせがく、木更津総合

東京都

東京大学教育学部附属、上野、工芸、文京、武蔵丘、南平、大泉桜、日野台、総合芸術、学習院女子高等科、東京成徳大学、安田学園、成城学園、東京農業大学第一、東京都市大学等々力、明治大学付属中野、國學院大學久我山、女子美術大学付属、芝浦工業大学附属、八王子学園八王子、創価、ＮＨＫ学園、聖徳学園、吉祥女子、明星学園、東海大学菅生、穎明館

神奈川県

横浜平沼、白山、百合丘、小田原、逗子、大和、橘学苑、サレジオ学院、湘南工科大学附属、相洋

新潟県

長岡工業高専、新潟江南、新潟工業、巻、新津、長岡工業、小千谷、小出、十日町総合、高田北城、高田商業、糸魚川、羽茂、万代、長岡向陵、国際情報、村上、柏崎翔洋、直江津、新潟明訓、新潟青陵、北越、新潟第一、東京学館新潟、創進

石川県

金沢錦丘、金沢二水、金沢辰巳丘

山梨県

日本航空

長野県

須坂、上田、岡谷南、蘇南、中野西、長野（市立）、須坂創成、松本第一、長野清泉女学院、上田西、東京都市大学塩尻、佐久長聖、エクセラン、さくら国際、コードアカデミー

岐阜県

岐阜北、加納、各務原、大垣南、関、大垣日本大学、麗澤瑞浪

静岡県

沼津西、清水南、焼津中央、掛川西、浜松西、静岡中央、静岡学園、浜松学芸

愛知県

東郷、半田、豊丘、春日井東、阿久比、愛知淑徳、日本福祉大学付属、東邦、名古屋

三重県

上野、セントヨゼフ女子学園、代々木

滋賀県

東大津

京都府

銅駝美術工芸、京都共栄学園

大阪府

和泉、ＰＬ学園、早稲田摂陵

兵庫県

明石北

岡山県

津山、津山商業、明誠学院、鹿島朝日

徳島県

城西

香川県

高松工芸

愛媛県

松山南

高知県

土佐塾

福岡県

九州産業大学付属九州

長崎県

波佐見

宮崎県

宮崎日本大学

鹿児島県

屋久島おおぞら

沖縄県

開邦、Ｎ

検定

高校卒業程度認定試験・大学入学資格検定

海外

外国の学校等

総合型選抜入学試験［専願型］

2022年度入試より、入試の内容と名称が変わります。
受験時点での実力だけでなく、学ぼうとする意欲や取り組む姿勢、思考力、判断力、表現力など個々の幅広い魅力と能力をこれまで以上にしっかりと見るため、全学的に試験方式を統一し、学科・コースごとの体験授業と面接を必須とします。それに伴い名称も下記の通り変更します。また事前課題、提出物（自己アピールファイルなどを含む）、面接時の資料や作品の持ち込みなどを廃止し、学科・コースごとの体験授業への参加及び面接をもとに受験時点での実力だけでなく、多角的な視点で個々の可能性を評価します。

●名称変更

総合型選抜入学試験［専願型］　→　総合型選抜入学試験［専願体験型］

●試験方式の統一

体験授業＋面接

●変更に伴い、本試験で廃止されるもの

・事前課題
・提出物（自己アピールファイルなどを含む）
・面接時の資料や作品等の持ち込み

入試解説サイトでも
詳しくご説明しています。
https://www.tuad.ac.jp/exam/measure/point.html

※試験の詳細については、必ず2022年度学生募集要項をご確認ください。

2022年度　学科・コース別 試験予定内容一覧

芸術学部

文化財保存修復学科

①体験授業　文化財保存修復に関するミニ講義を受講した後、ミニレポートを提出する
②面接

歴史遺産学科

①体験授業（模擬授業とグループディスカッション）
・模擬授業にて身近で具体的な歴史遺産（考古遺跡や伝統的建造物など）をひとつ取り上げ、教員が説明を行う
・7、8 名程度のグループに分かれ上記歴史遺産の利活用を話し合う
・講義の感想とグループで話したことを講義ノート（A4 一枚程度）としてまとめ、面接冒頭に 3 分程度で話す
②面接

美術科 日本画コース

①体験授業（日本画の写生体験）
・筆法体験　日本画の特徴である筆の体験講座を行う
・写生　決められたエリア内（屋内）で、各自写生を行う
②上記体験を通じて感じたこと、考えたことを文章化し、振り返りシートの提出する
③面接（1 グループ 2～3 人で行う）

美術科 洋画コース

①体験授業（静物油彩）　油彩制作におけるポイントレクチャーを行い、各自油彩制作を行う
②面接（1 グループ　4～5 人で行い、当日制作した作品をもとにグループでのミニ講評会を兼ねる）

美術科 版画コース

①体験授業（銅版画、木版画制作体験）　版画の工程や作業のポイントについて指導をうけながら制作を行う
②ミニ講評会　体験授業終了後ミニ講評会を実施し、体験授業を通じて気づいたことをミニレポートに書く
③面接

美術科 彫刻コース

①体験授業（彫刻制作体験）　大学周辺を散策し、収集した自然物やスケッチをもとに各自が自由な発想で粘土を使って立体作品を制作する
②振り返り　制作物の意図や感想を発表する
③面接

美術科 工芸コース
①体験授業（立体造形物制作体験） モチーフの成り立ち、作り方の基本など工程ごとに学びながら粘土を使って制作。
制作物を基に各自発想し、デザインを形にする立体構成を行う
②振り返り 制作後、工夫した点などをシートに記入する
③面接

美術科 テキスタイルコース
①体験授業（テキスタイル制作体験） 染色に関する講義を経て工程を学び染色作業を行う。また、染色した布の色をもとに
複数の色を使用した配色デザインを行う
②振り返り 完成後に一人ずつテーマと工夫した点を発表する
③面接

美術科 総合美術コース
①体験授業（アートワークショップ体験） アートワークショップを体験後、それを活用したイベント企画をグループで考え発表する
②面接

文芸学科
①体験授業 教員による説明を経て、グループ単位で昔話をリライト（書き換え）する体験型演習を受講する
②作文 ①で行ったグループワークについて執筆する（400 字程度）
③面接

デザイン工学部

プロダクトデザイン学科
①体験授業 身のまわりのモノの機能や形態を観察し、その理由を考える。前半のグループワークではそれらの優れた点や
改善すべき点を共有し、後半の個人ワークでは、対象となるモノの応用展開例を提案する
②面接

建築・環境 デザイン学科
①体験授業 建築、まち、自然や環境問題に関するミニ講義を受講後、講義に対する自身の意見をミニレポートにまとめる
②面接

グラフィックデザイン学科
①体験授業 デザインに関する模擬授業を受けた後、その内容を基にグループで発表を行う
②面接

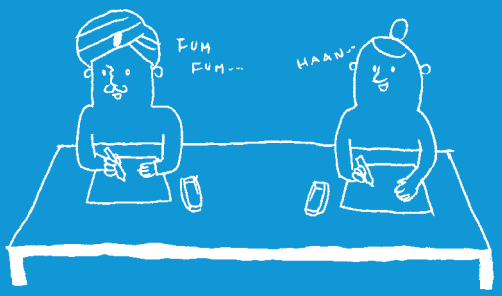
映像学科
①体験授業（創作体験） 提示する 1 つのキーワードから独自の映像作品をイメージし、その世界観をアイデアスケッチと文章
（200 字以内）で表現する
②グループ内での発表 上記制作物を基に数人のグループで発表を行う
③面接

企画構想学科
①体験授業
・ミニ講義 課題解決型ワークショップの進め方に関する講義を受講する
・課題解決型ワークショップ 提示された課題に対して、グループに分かれて企画を考え発表を行う
・振り返りシート ミニ講義とワークショップを振り返り、整理した内容を記入する
②面接

コミュニティデザイン学科
①体験授業
・地域課題解決型ワークショップ 地域の社会課題を解決するためのアイデアをグループで話し合う
・プレゼンテーション 上記アイデアをグループごとに発表する
・振り返り 自身の気づきや考えについてレポートを作成する
②面接

実技

小論文 / デッサン / 水彩画 / 油彩画



小論文

試験時間 90分

出題内容　指定の出題テーマに沿って提示された文章（著作物・新聞記事・コラム等）を読み、その内容に触れつつ自分の考えを600～800字で述べる

テーマ　「社会と人間」（全入試共通）

評価のポイント
- 「思考力・判断力・表現力」を評価するため以下のポイントを重視する
- 文章力：単なる読みやすい文章だけではなく、論理的な文章を書けているか
- 読解力：課題文で書かれている主題をきちんと理解し、自らの意見を書けているか
- 構成力：自分の都合のいいように、強引に理屈をこじつけるような説を述べるのではなく、課題文との連続性の中で文章を書けているか
- 論理展開力：自らの感想や体験にとどまらない普遍的な視点により、論理的な考察を行えているか

大学で用意するもの　解答用紙（原稿用紙縦書き）、下書き用紙（A3、2枚）

受験者が用意するもの　鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り

※2022年度の出題概要は、「2022年度 学生募集要項」をご確認ください。

●アドバイス

小論文は感想文ではありません。書き手が思ったことを素直に書いても、それは感想文にしかなりませんし、ましてや誰かの顔色をうかがうような「○○はしてはいけないと思います」のような心地よい終わり方をする文章は小論文ではありません。

そうならないために必要な力の一つ目は文章力です。「あーそーゆーことね」と思ったあなた、それは多分違います。わかりやすく読みやすい文章を書くのは当然のことで、入試だからといって特別、要求されるものではありません。そうではなく自らの言いたいことを論理的に伝えるための文章力です。自らの主張のためにどのような語句を使えば良いのか。一文内の構成だけではなく、段落内の文章構成、さらには段落ごとの全体構成も含めて考える必要があります。

二つ目は読解力です。例えば課題文で「白米の美味しさ」について述べられているとしましょう。これに対して「ライスペーパーの便利さ」を書いたとしたら、課題文のテーマからは大幅にずれていることになります。もちろん同じ「米」について書いているため、解答者自身は関連する意見を述べている感覚に陥っているのはわかります。しかし課題文の主題を見失っていると読み取れます。

三つ目は構成力になります。「白米の美味しさ」という課題文に対し、「美味しい」、「不味い」という対立軸を勝手に構成し、片方の立場で意見を述べるのはベストな選択ではありません。なぜならまず課題文にその二項対立が書かれているかどうかの確認が必要です。また賛成や反対は誰でもできることで、そこに書き手の力はあまり必要ありません。何より対象に対する思想が二つしかないのは、極めて窮屈な考えです。そうではなく単なる対立軸を越えて、自らの意見を述べる力が試されます。そのためには課題文を踏まえ、自らの意見を論理的に構成し、説得力のある内容を練り上げることになります。

最後は論理展開力になります。感想文にならないためには、客観的な情報をよりどころにした論理的な思考を行い、それらの情報により自らの意見や思想を実証していく必要があります。そのためには数多くの本を読み、ニュースに触れ、知識を増やし、自らの身体での体験・経験をしていかなければなりません。ここで陥りがちなのは、自らの体験をただ書くだけで論理的な主張になると思い込むことです。もちろん皆さんの経験は皆さんの経験として重要です。でも別の人が同じ事象を経験しても、正反対の感慨を抱く可能性もあります。つまり個人の体験を普遍化するためには論理的な力が必要になります。

文章を書く訓練、そのために必要な情報の取得を常日頃から取り組むため、小論文を書く力は一朝一夕で身につくものではありません。逆にいえば皆さんがこれまで生きてきて経験したこと、知識として吸収したことが直接的に表れてきます。その多様な知識に裏打ちされた多様な感性は、入学後も必ず活かされます。

総合型選抜入学試験［併願型］

問題

以下の文章は、「(社説)コロナと図書館　「知る権利」守る工夫を」(出典：2020年6月21日05時00分 朝日新聞社デジタル https://www.asahi.com/articles/DA3S14520714.html (試験問題用に一部改変))からの抜粋です。この文章を読み、「社会と人間」をテーマに自分の考えを、600～800字でタイトルをつけて自由に論じなさい。

新型コロナの感染予防対策で公共図書館の多くが休館した。在宅時間を使って気になっていた本を読みたい。仕事や子どもの自習に役立つ資料がほしい。そんな望みをかなえることができず、利用者と図書館の双方が悔しい思いをした。

次に感染の波がきた時に備えて何をしておくべきか。経験やアイデアを共有し、社会全体で知る権利と自由を守りたい。

図書館や美術館などの活動を支援する市民団体「saveMLAK」によると、ピーク時には全国の9割超の図書館が開架エリアも立ち入り禁止の措置をとった。今も新聞・雑誌の閲覧やネット端末の利用を制限している館が少なくない。

いつにも増して多様な情報が必要な時期なのにアクセスできない。そんな状況に困惑し、図書館の存在意義を改めてかみしめた人も多いだろう。

一方で、予約本については窓口での貸し出し業務を続ける、送料を負担してもらって自宅に郵送する、ドライブスルー方式で本の受け渡しをする――といった工夫で、市民との接点を維持したところもある。

電子書籍の貸し出しは大幅に伸びた。扱っている自治体は100以下にとどまるが、これからの図書館を考える際の必須のアイテムといえよう。

再開が難しいサービスの一つに、子ども相手の絵本の読み聞かせ会がある。日本図書館協会は、外出自粛要請が出ている期間中は読み聞かせの動画を配信できるよう、著作権者の協力を求める運動に取り組んでいる。ぜひ前に進めてもらいたい。

難しい問題も持ちあがった。

協会は感染防止のガイドラインを作り、「来館者の氏名と緊急連絡先を把握する」とした。だが協会自身が定めた「図書館の自由に関する宣言」は、借りた本はもちろん、図書館を利用した事実も含めてプライバシーを守るとしている。図書館が思想統制の担い手になった戦前の反省を踏まえた約束だ。当初示された「来館者名簿の作成」には批判が出て、緩やかな表現に落ち着いた経緯がある。

感染者の来館が後でわかったら、その日時をホームページに載せて広く注意を促すことにとどめる図書館もある。何らかの形で記録を残す場合でも、目的や取り扱い方法を利用者に丁寧に説明し、保存期間を極力短くするなどの対策をとるべきだ。地域の感染状況なども踏まえながら、多くの人が納得できる対応を心がけてほしい。

誰もが、いつでも、気軽に訪れ、古今東西の「知」に接することができる場。コロナの時代でも、そんな図書館の使命を果たし続けなければならない。

参考解答

「知る権利」の地域格差

新型コロナウイルスの感染予防対策で公共図書館の多くが休館した。それによって、必要な本や資料を借りることができない。貸すことができない。図書館も利用者も悔しい思いをした。「知る権利」が保障されていない現状を、コロナの時代にどのように改善するかが課題だ。

私の住んでいる地域では、感染者は少なく図書館はマスクや消毒、貸出カウンターにビニールのカーテンを付けて、感染防止対策をして貸出を行っていた。しかし、感染予防対策のために閉館時間が一時間ほど早まっており、学校帰りに図書館へ行って自分が必要な資料を探すには時間が足りず目当ての本を借りることができなかった。また、電子書籍の貸出も行っていないため、進路に関する資料もインターネットで調べることしかできず、「知る権利」が不十分だと感じた。

このように、地域によって公共図書館の動きに違いがあることが課題だと考える。他の地域では電子書籍の貸出を行っているため、図書館に実際に行かなくても本を借りることができるため、感染リスクも大幅に減少し、「知る権利」も守られる。しかし、電子書籍の貸出を行っていない地域では、実際に図書館へ本を借りに行くという感染リスクがでてきてしまう。または、電子書籍を扱っていない、図書館も閉館となると、「知る権利」は守られなくなってしまう。このように、地域で格差が出てしまうということは、「知る権利」が平等でなくなってしまうため、あってはならないことだと考える。

これからの新型コロナウイルスと共存する時代では、「知る権利」の地域格差を無くすことが必要である。そのためには、「知る権利」の重要性を今以上に県や国に知ってもらい、格差を埋めるための補助が必要だ。より多くの地域の図書館で電子書籍の貸出が普及することで「知る権利」は新型コロナウイルス流行前と同じくらい改善されると考える。

課題ポイント

課題文を読むと毎日のように経験している日常生活を別の視点で見ている人がいること、そこに驚くべき自然の力や我々の営みの蓄積、そして問題点や課題のあることに気づかされる。

その気づきから、今一度自らの経験を省みて、提示された問題や課題を咀嚼する。そして、身近な経験だからこそ考えられ導き出せる解決案や新たな視点の提示が、本問のような小論文には求められる。

この回答例は、地域自治体によって対応の異なるコロナ禍の公共図書館に着目し課題と新しいICTの技術による解決案を具体的に提案している。

参考解答

プライバシーの厳守と安心・信頼

新型コロナの感染予防対策により、多くの公共図書館が休館し、市民との繋がりを制限せざるをえなかった。十分な情報を得られず困惑した市民、十分に「知」を提供できず悔しかった図書館も多いだろう。私も困惑してしまった市民の一人である。私にとって図書館は「誰でも気軽に安心して情報を知ることができる、触れられる場」である。また、他の人にとってもそうであって欲しいと願っている。それ故に、来館者のプライバシーを守ることは必須であると強く思う。それは、小学校の図書室での経験からだ。

小学校の図書室では、借りた本はもちろん図書室に来たことでさえ利用者の情報を守ってくれる。小学校の頃の私は外で遊ぶことの多い子供で、図書室で本を借りるという行為が気恥ずかしかった。似合わないねなんて笑われてしまったらどうしようなどと考え、なかなか訪れることができなかった。授業で訪れた時に先生に相談すると、「図書室に誰が来たか、何を借りたかはみんなに言わないから大丈夫だよ」と声をかけてくれたことで、安心して利用できるようになった。プライバシーを守ることが、安心や信頼に繋がることを学ぶことができた経験だった。

人間には誰しも、「知られたくないこと」がある。図書館に行ったことを知られたくない人もいるだろう。もしプライバシーが守られない場なのであれば、「安心」して訪れることはできないだろう。また、最近ではコロナに感染したことが分かると、地域の人から差別されるケースも少なくない。それにおびえて検査を拒む人も多くいると聞く。プライバシーが守られない社会では、人間は「安心」して「信頼」して生活することはできないだろう。それは文化を衰退させること、感染症の悪化に繋がってしまうと考える。不況続きの今だからこそ、プライバシーが守られる社会、私達が安心できる信頼できる社会を作りあげていくべきではないだろうか。

評価ポイント

課題文を読むと毎日のように経験している日常生活を別の視点で見ている人がいること、そこに驚くべき自然の力や我々の営みの蓄積、そして問題点や課題のあることに気づかされる。

その気づきから、今一度自らの経験を省みて、提示された問題や課題を咀嚼する。そして、身近な経験だからこそ考えられ導き出せる解決案や新たな視点の提示が、本問のような小論文には求められる。

この回答例は、知る権利とプライバシーの保護に着目し、自らの過去の経験からその重要性を強調し社会の姿勢と方策についてわかりやすく示している。

一般選抜入学試験【前期・専願型】
大学入学共通テスト利用入学試験【1科目利用】

問題

以下の文章は、荒俣 宏『奇想の20世紀』（NHK出版／2004年）からの一部抜粋です。（出題の都合上、小見出しを削除する変更を加えた。）
この文章を読み、「社会と人間」をテーマに自分の考えを、600字～800字でタイトルをつけて自由に論じなさい。

最初のパック旅行ともいうべき、団体観光ツアーを企画したのは、イギリス人トマス・クックだった。一八四一年のこと、折から開通した鉄道を活用する方法はないかと思案するうち、禁酒運動の団体を楽しみながらミッション活動させる小旅行の企画を思いついた。当時、団体で異郷の人々が旅行する光景は、聖地巡礼以外には決して見られなかった。それだけでニュースになり、禁酒の宣伝も効果があがる。おまけに参加者はリクリエーションまで楽しめるのである。ただしクックは、富豪を集めた大名旅行ではなく、貧しい人々も参加できる団体旅行を計画したところに、二十世紀を変える大イベントの鍵を用意した。

トマス・クックの団体観光旅行を世界的に有名にしたのは、何といっても一八五一年ロンドン万博だった。世界で初めて開催されるこの万博を見物したいと思う地方や外国の人々のために、クックは、交通から宿泊、入場から両替まで、あらゆる面倒を見るツアーを販売すること思いついた。かれはそのために鉄道会社、ホテル、万博の主催者などと交渉をもち、料金を割引かせる方策に出た。こうして、地方の貧しい人々でさえロンドンの世界的催しに堂々と参加できる道が開かれた。

このトマス・クックの団体観光旅行の成立は、二十世紀最大の文化の一つといえる「観光」の意味を、人々に明らかにした。観光とは、中世の巡礼とほぼ同じ意義をもつ旅である。すなわち古代からよく知られた名所を、自分の足で訪ねてみることである。だから観光の対象地は、かならず「名所」でなければならなかったし、名所とは、歴史と自然の最も驚異的なクライマックスを示す場所のことであった。そういう名所なら、だれでも、大ぜいで行くことができる。

これに対し、旅行とは、個人的に行く旅である。個人の要求に応じ、かならずしも名所ではないところへ、でかけることである。もちろん、未知の場所があるからこそ、あえてそこへ挑戦する「探検」は、大衆にとっては論外であった。ところがその「探検」は、十九世紀後半に、全く新しい世界の名所を、ヨーロッパの人々に紹介することになった。世界には、これまで知られていなかった名所が、いくらでも存在する。それを発見したのが探検であった。

こうして十九世紀は、古くから知られてきた「ヨーロッパ内の名所」と、新しく発見された「世界の名所」とが、競うように団体観光旅行のテーマとなった。ここでも大きな足跡を残したのが、トマス・クックだった。かれはついに一八七二年秋、念願の世界一周団体観光ツアーを実施した。この企画を実現するには、各国の時差を考慮した交通手段の手配、スケジュールの作成、そして何よりも外国紙幣を交換できる外国為替の業務が必要となった。トマス・クックはこれらの新事業を、ことごとく独力で立ち上げてしまった。二百二十二日をかけ二万五千マイルを踏破するこの大ツアーがもたらした衝撃は大きかった。どんなに田舎に暮らす人々にも、世界を見てまわることが可能となった。フランスの作家ジュール・ヴェルヌは、クックが実際に旅行している最中に、誌上の架空世界旅行レポートとして、あの有名な『八十日間世界一周』を連載した。こうして世界の人々は、あらゆる意味で、必然的に「国際人」「地球人」という自覚を身につけたのだった。

参考解答

現代社会に必要な「自覚」

トマス・クックは世界にさきがけて、貧富関係なく万人が参加できる団体観光旅行を企画した。この企画の成立はよく名の知られた古代からの名所を訪れる「観光」と、あまり名の知られていない未知の領域を個人的に探検する「旅行」の二語の定義の違いを明らかにした。

さらにクックは、相反し競っていた観光と旅行を統合し、世界一周団体観光ツアーを実施した。これは世界の人々にとって、自らが「国際人」「地球人」であるという自覚を身につける契機となった、と筆者は文中で述べている。

この文章を読んで私は、現代に生きる私たちもクックの時代の人々のように「旅」を通して国際人としての自覚を持つ必要があると感じた。

現代ではグローバル化が進み、日本にいながらでも外国の情報や商品、文化を摂取することができる。しかし、それは同時に国際人であるという自覚なしに常に世界とつながってしまっているともいえるのではないだろうか。当然のことだが、日本には日本の文化があり、諸外国には諸外国の文化がある。もし国際人の自覚に基づいた配慮なしに世界との交流を続ければ、いずれ他人との間に重大な争いを生みかねない。現代人は、こういった危うさをはらんだ社会の中で生きているのではないだろうか。

現状では、新型コロナウイルスの影響により外国に「旅」をしに行くことは極めて困難である。しかしコロナウイルスが終息したあかつきには、実際に「旅」を通して外国を知り、国際人として自覚を育むことこそ、現代のグローバル化社会をより正しく生きるために必要なことだと私は考えている。

評価ポイント

問題文は、トマス・クックが企画・実施した世界初の団体観光旅行や世界一周団体観光ツアーについて記されていますが、「観光」と「旅行」の違いにも及んでいます。その違いを受け止めて、タイトルに記した必要な「自覚」をキーワードとして、現今の話題であるコロナ禍で困難となった旅にも触れつつ、テーマである「社会と人間」に結びつけて論じている点が評価されます。

参考解答

多様社会を見つめる

課題文では、トマス・クックが新たな団体観光旅行を企画したことにより世界中の誰もが世界をまわることを可能にし、必然的に国際的な自覚を身につけたと述べられている。私は、斬新な観光旅行企画が人々の社会の捉え方に大きく影響したと考える。

グローバル化が叫ばれる現代において、自国の価値観に留まらず、多様な視点を持つことは重要である。価値観は周囲の環境や文化的背景などにより異なるものであり、今自分が普通だと思っているものが他人にとってそうでないことが多くある。個人との間でも差異が生じるのだから国家間において価値観のズレは非常に大きい。世界を旅することは他国の文化や考えに触れることで、価値観の拡大を可能にする。世界中のあらゆる人々が視野を広げる機会を得たことはグローバル化社会における大きな一歩であると考える。

価値観が広がり多様な文化を受け入れることで、国の独自性が失われるという主張も考えられる。確かに各国に様々な文化があるからこそ面白味が生まれるのであろう。だが、現代において大切なことは異なる考えや文化に触れたとき、それらを受け入れる姿勢である。それを受け入れず異質なものとして排除することに大きな問題がある。実際に他国の思考を劣ったものとして退け、一方的に考えを押しつけ支配した過去がある。限りある地球で暮らす我々にとってはものごとを地球全体主義に従って考えることが必要である。そのためにはやはり自国の価値に縛られない、様々な国の文化を受け入れようとする多文化主義が重要となってくる。

「世界を旅する」ということは「価値観を広げる」ということであり、持続可能な地球をつくっていくという点においても非常に重要であると考えている。トマス・クックが新たな団体観光ツアーを企画したことは、世界中の誰もが視野を広げる機会を得たという点において大きな影響をもたらした。

評価ポイント

参考解答では、問題文に記される団体観光旅行が与えた人々の社会に対する捉え方への影響を読み解き、現代のグローバル化する社会における多様な価値観を取り上げています。筆者が多様な社会を受け止め、面白いと感じる立場を明確にして、「世界を旅する」ことが「価値観を広げる」ことにつながるという考えを論理的に記述している点が評価されます。

一般選抜入学試験［後期］

問題

以下の文章は、山崎鎮親『半径一メートルの想像力』（旬報社／2014年）からの一部抜粋です。この文章を読み、「社会と人間」をテーマに自分の考えを、600字～800字でタイトルをつけて自由に論じなさい。

「かわいい」は子どもたち若者たちの日常語となっている。さらに「仲良し」や仲間たちとの共通性を確認するツールともなっている。「これ、かわいい」「これもかわいい」と連続する「かわいい」は自分だけのつぶやきではなく、相手に提示され、相手に承認や同調を求める発話でもある。ここには、「かわいい」コミュニケーションの社会的文脈がある。

「かわいい」文化の担い手たちはお互い友だちであったり、「仲良し」であったりする。たとえば、「ねっ、これ、かわいいでしょ」と話をふられ、友だちのもっているアイテムに「かわいい」という。「どう、かわいい」とふられ、新しい髪型に「かわいい」と伝える。これは評価であると同時に同意という面も含まれる。「かわいい～」は仲間からの同意の「かわいい～」であり、相手からの承認を得るための「かわいい～」という面をもつ。「わたしは、あなたがかわいいというものに、おなじくかわいい、という」。「かわいい」の社会的文脈は、リースマンが消費社会の若者文化の特性として指摘した「他者指向型」（注1）における同調競争とみることができるだろう。

だから、この「かわいい～」には「小舟の同乗者」たちの緊張関係という面も含まれると考えることができる。「かわいい～」は感情交流的であると同時に、感情排他的でもある。「かわいい～」というメッセージは、お互いに感情のシンクロを要請するメッセージでもある。「かわいい～」を軸に、「仲良し」集団のなかで感情が交換され、感情共同体としての「かわいい」集団の「仲良し」性が確認される。

「かわいい」コミュニケーションは「仲間」の間での儀礼であり、「かわいい」は承認を得るための魔法の言葉となる。しかし、同時に「かわいい」は排他的な意味を併せもつ。「かわいい」は「かわいくない」をともなっている。あるものが「承認」と同調をもとめて「かわいい」と発しても、かならずしも「かわいい」という同調が返ってくるとはかぎらない。「仲間からの承認」は得られないかもしれない。

こうなると「かわいい」が交換される「仲良し」関係は緊張を孕んだ関係となる。「他人指向型」で示されたように、「かわいい」と承認され同調されるかを探りながら、「かわいい」コミュニケーションが展開する。「ちょっとしたちがい」に「さりげなく」気を遣いつつ、相手の承認が得られるのかどうか、「仲良し」が維持されるのかどうかについてつねにレーダーを張りめぐらせて「かわいい」が交換される。

教室という空間に目を移したらどうであろう。一定期間一緒にいることを「強要」されたなかで、さらに「仲良し」となることフォーマルには求められるなかで、お互いの顔をうかがい、「空気」を読みながら、あるいはキャラを繰り出すという人間関係が生まれるのだろうか。そうであれば、お互いの顔をうかがい、「空気」を読みながら、感情や言葉の交換がさりげなくなされる関係が生まれるのではないか。それはあたかも「神経戦」の様相を呈しているのかもしれない。どこまでが大丈夫なのか、周囲の輻輳を注意深く探りながらけっして危険水域には踏み込まず、侵犯しないように、でも探りのソナーはつねに発信させるという深海で繰りひろげられる神経戦。潜水艦ゲームのようだともいうことはできるのだけれども。

（注1）「他者指向型」：アメリカの社会学者であるデヴィッド・リースマンが、『孤独な群衆』のなかで定義した人間の社会的役割の一つ。人が自分の嗜好ではなく他人の嗜好に同調することを意味する。

小論文

参考解答

孤独と向き合う勇気

子どもたち若者たちの日常語となった「かわいい」という言葉は共通性を確認するツールとなった。「かわいい」は同意という意味を含む言葉となったといえる。しかしその「かわいい」に同調が返ってこない場合もある。現代の若者たちはそれを恐れて、自分をさらけ出せずに神経をすり減らしていると課題文では述べられている。

現代社会はインターネット化が進み、誰とでも気軽にコミュニケーションをとれる時代となった。そのことにより現代の若者は孤独になることが少なくなり、孤独になることを恐れている。ネットいじめなどの問題が取り上げられることで「孤独」＝「いじめ」というイメージが若者に定着してしまったのであろう。しかし孤独になることも時には必要だ。

人間は他人との関係が不可欠な一方で孤独になる時間も大切である。孤独な時間は自分を見つめ直す良い機会となる。自分はどういう人間なのか、今何をしたいのかなど明確になる。さらに言えば自分に自信を持て、日頃神経をすり減らしていた友人の前でも自分をさらけ出すことができ、良い友人関係を築くことができる。孤独な時間こそ有意義な時間であり、我々に力を与えてくれる。孤独を恐れてはならない。

様々な情報が行き交い、日々、変わり続ける現代社会で求められるのは「個性」である。「個性」は人間を形づくっている存在といっても過言ではない。「個性」が無くなってしまえば人の皮をかぶったロボット同然である。そんな「個性」を失わないためにも我々、特に子どもたちや若者たちは孤独な時間を大切にすべきである。孤独と向き合い、神経がすり減る社会から脱し、自分を見つめ直すことで未来が見えてくる。現代社会に生きる我々に必要なものは孤独と向き合う勇気なのではないだろうか。

評価ポイント

多くみられた解答は、著者の意見に賛意を示しながら、SNSにおける同調圧力を自らの経験として語るものでした。これが完全なる的外れとは言えませんが、内容としては課題文に書かれているテーマや論点をそのままほかの事例に置き換えているだけです。そうではなく参考解答では孤独の大切さ、アイデンティティの重要性を自らの考えとして課題文から導き出しています。

デッサン 試験時間 180分

出題内容	鉛筆によるデッサン モチーフ：日用雑貨と手（片手・両手いずれも可）（全入試共通）
評価のポイント	「思考力・判断力・表現力」を評価するため、以下のポイントを重視する 観察力：形、質、色などモチーフが持っている情報をどれだけ多く得られているか 構成力：モチーフの組み合わせ方、画面にどのように描いているか 描写力：観察して構成したものをしっかり描いてモチーフの特徴が第三者にも判るか
大学で用意するもの	B3画用紙、下書用紙（A3、2枚）
受験者が用意するもの（使用可能用具）	鉛筆デッサン用具一式、カルトン（画板）またはパネル、カルトン用クリップ、フィキサチーフ（定着液は試験終了時に限って使用可） 使用可：鉛筆（シャーペン可）、消しゴム（練り消しゴム含む）、鉛筆削り用具（カッター含む）、デッサンスケール（デスケル）、擦筆、羽ぼうき（製図用ブラシ含む）、はかり棒、定規、ティッシュおよびガーゼ（袋から出して使用）

※2022年度の出題概要は、「2022年度 学生募集要項」をご確認ください。

●アドバイス

紙コップ、ロープといった日用雑貨はみなさんが日頃から目にしているモノです。普段目にしているモノだからこそ改めてしっかり観察する事から始めてみてください。また、モノと人（手）がどのように接しているのかも観察してみましょう。そして、沢山描いてみることが大切です。デッサンの評価ポイントは「観察」「構成」「描写」の3つです。この評価ポイントに従って描いてみましょう。

(1) 観察

「観察」のポイントは、モチーフが持っている情報を収集し、それがどういうモノなのかを理解できているか？です。手は骨格や筋肉のつき方など、皮膚の下にある構造を意識することが必要です。各指の太さや長さ、手のひらの大きさ、厚み、手首と腕の長さなど、それぞれの比率も重要なポイントです。また皮膚や爪などの質感表現は、「手らしさ」を表す大切な部分です。日用雑貨も同じように構造的な観察を行ってください。紙コップなどのモチーフは形や比率の正確さが特に重要です。またコップの縁の膨らみや紙の薄さ、持ったときの軽さ、ロープの柔らかさなど、その物らしさを表す部分を見落とさないようにしましょう。

(2) 構成

「構成」のポイントは、モチーフの組み合わせ方、そしてそれらを画面にどのように描いているか？です。まず手と日用雑貨の組み合わせ方が重要です。モチーフそれぞれの「らしさ」が出るポーズ、アングル、組み合わせた時に立体的な空間を作れているか等を注意深く確認しましょう。次に画面にどのように配置するかですが、大き過ぎず、小さ過ぎず、画面の余白との関係をしっかり確認して位置を決めましょう。

(3) 描写

「描写」のポイントは、観察し構成したモチーフをしっかり描き込まれているか？です。そのためには光の方向を定め、陰影のつき方に矛盾が起きないようにしましょう。また、モチーフの手前と奥の描き込み密度、鉛筆の濃淡の使い分け、観察や構成から得られた事を整理して描き込むようにしましょう。

総合型選抜入学試験[併願型]

問題

与えられたモチーフと、それを持つ手をデッサンしなさい。なお、手は片手でも両手でも構わない。

モチーフ：ゴムボール1個

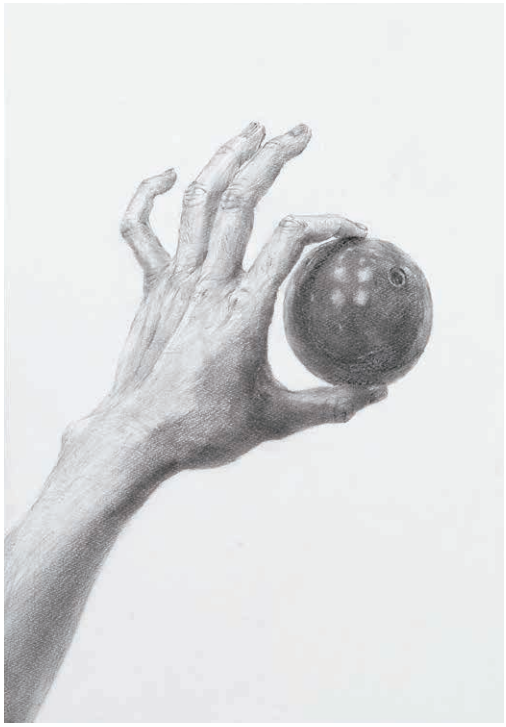
参考解答

評価コメント

両手を使って大胆に画面に構成しています。試験時間内に両手までを描写する事はリスクもありますが、モチーフであるボールと掴んでいる指の表情の描き込みで全体のバランスを保っています。ボールを包んでいる様な中心部分の空間もしっかり描かれており説得力のあるデッサンです。

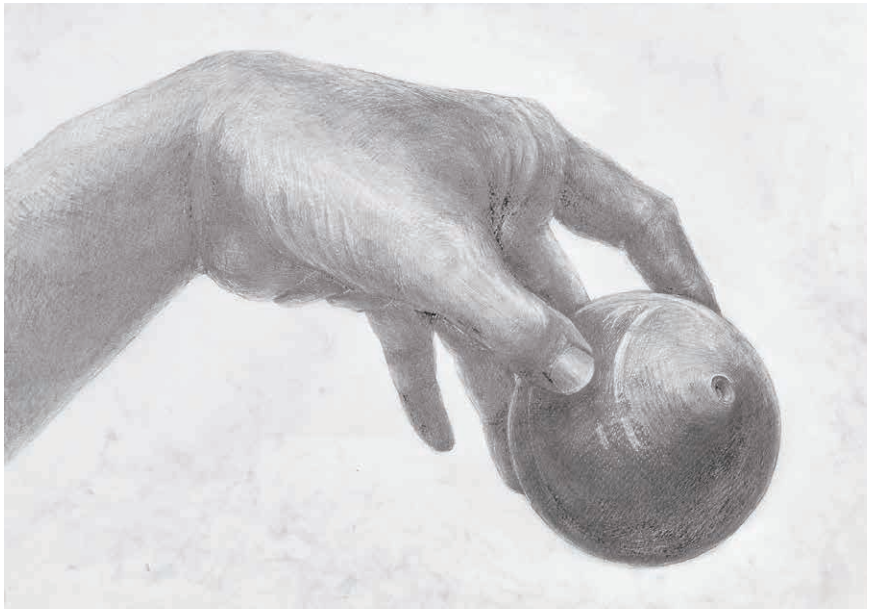
評価コメント

正面から大きく構図をとることで堂々とした印象を与えています。ゴムボールはツヤとハリを強く意識しながら描き込み、手はシワをうまく拾いながら皮膚や肉の膨らみを細かく観察しています。素材感の対比が狙いとして伝わってきます。親指で押してできた微妙な変形をボールのつなぎ目を利用して表現するなど、モチーフの扱い方にも意図が感じられます。



評価コメント

ボールを指先で摘んでいる様な構図でバランス良く画面に配置されています。手とボールの色味の違いや質感の違いがしっかり描き分けられており、特にボールの丸みは良く出ています。摘んでいる指とボールの空間は良くかけているのですが、手首の描写が少し弱くなっている点が残念です。



評価コメント

全体的に中間色でまとめ、自然なやわらかさとスッキリとした空間を感じるデッサンです。ボールは軸の方向を見せ、手前（ボール）と奥（小指）の濃度に差をつけることで距離感も出ています。親指の付け根から第一関節にかけてもっと強く描き込むことができれば、画面全体に立体感が出せるでしょう。

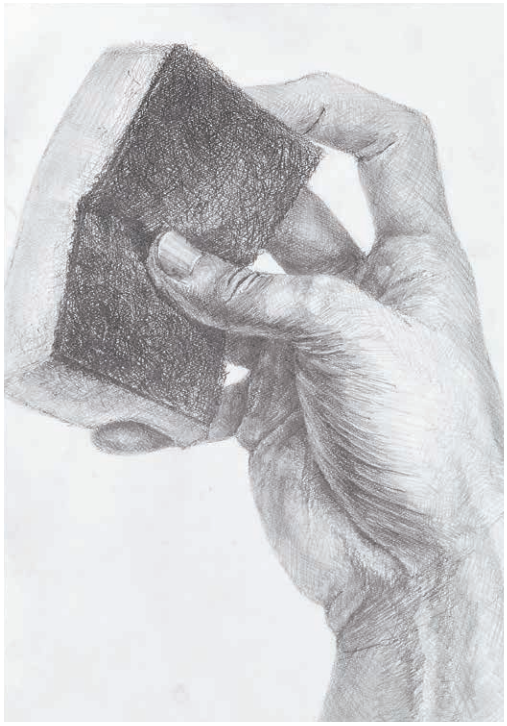
一般選抜入学試験［前期・専願型］
大学入学共通テスト利用入学試験［1科目利用］

問題

与えられたモチーフと、それを持つ手をデッサンしなさい。なお、手は片手でも両手でも構わない。

モチーフ：スポンジ1個

参考解答



評価コメント

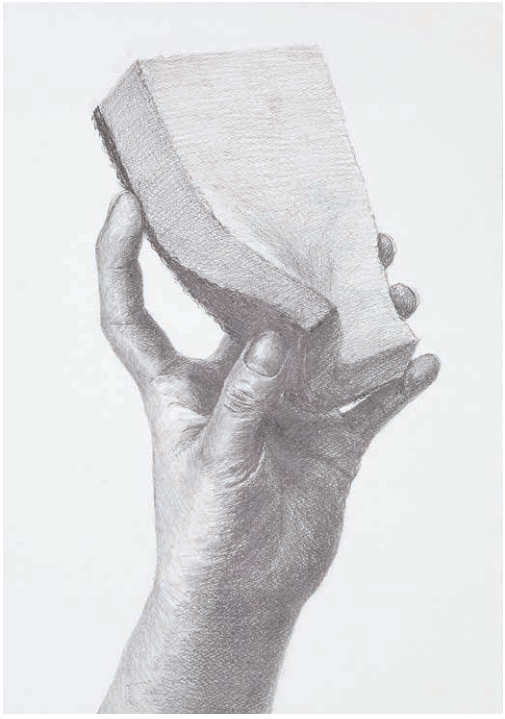
モチーフの柔らかさを出す構図で画面に大きく描けています。スポンジの濃い面を手前に向けて手とモチーフを描き分けやすくしている点も評価できます。人差し指、親指、小指の3点で持っている様子、力のかかり方などは手首と親指の描き込みで表されており、手のひらの空間も良く描けています。描くべきところしっかり描いているバランスの良いデッサンです。

評価コメント

画面の中の構成がよく考えられています。手は、親指と中指でスポンジを挟みながら指のポージングを変化させて右上の奥に流し、スポンジは手とクロスさせるように右下の手前に出しています。手の質感表現に比べてスポンジが物足りない気がしますが、指の影の落ち方や表面の細かい凹凸、角の出方をよく観察して描き方の種類を増やすと良いでしょう。

評価コメント

人差指の上端とスポンジの右端を画面いっぱいの位置に描き込んだことで画面に迫力と緊張感を与えています。人差し指と小指は濃淡で差をつけることで奥行きがしっかりと表現され、スポンジをつまんだことで生まれた、親指・中指の空間も的確に表現されています。さらに、押し込まれたスポンジの弾力感を描くことで質感も上手に表現できています。親指の存在がわかりづらくなっていますが、中指・薬指との関係を整理しながら描くとさらに良くなるでしょう。



評価コメント

手前の人差し指と親指を主題においたポージングが画面に魅力を与えています。特に、親指・人差し指・中指の間に生まれた空間がきれいに描かれています。人差し指とスポンジと接する部分の緊張感も良いです。一番手前の親指をしっかりと描き込み、スポンジを上へと押し込む動きでスポンジの表裏の違いや質感を表現することができています。中指・薬指・小指にかけての表現が単調なので、ここにもう一つアレンジが加わるとさらに良くなるでしょう。

一般選抜入学試験［後期］

問題

与えられたモチーフと、それを持つ手をデッサンしなさい。なお、手は片手でも両手でも構わない。

モチーフ：スプーン1点

参考解答

評価コメント

スプーンの金属感が映り込みや線の硬さによってしっかり表現されています。モチーフの大きさを正確に捉えており、手との構図もバランスが良く、自然な印象を受けます。手はしわの表情が丁寧に描きこまれており、モチーフとの対比が明確に描写されています。スプーンを支える指にわずかに重みがかかっている様子など細かいところまで観察していることが分かります。

評価コメント

鏡面のモチーフの立体感を映り込みの描写によって表現することが出来ています。有機的な指と無機質なモチーフとの対比が親指の周辺を中心に細かく描かれており、固さと柔らかさが表現されています。余白の配置のバランスが良く、指を広げた動きのあるポージングによって緊張感と軽快感のある印象的な構図になっています。

水彩画 試験時間 300分

出題内容	水彩画制作 [試験別モチーフ] ◯総合型選抜入学試験[併願型]：果物、野菜、無機物などの静物1～2点 ◯一般選抜入学試験・大学入学共通テスト利用入学試験[1科目利用]：花、果物、野菜、無機物などの静物を数点
評価のポイント	「思考力・判断力・表現力」を評価するため、以下のポイントを重視する ◯総合型選抜入学試験[併願型] 描写力(技術)：対象から得た情報を個々の技術でいかに再現出来ているか 観察力：対象の形態、質感、色をどれだけ捉えることが出来ているか 発想力(独自の視点)：画面上において、対象から得た情報を独自の視点で解釈、表現出来ているか 表現力(色彩表現)：色彩を用いて対象の魅力を表現出来ているか ◯一般選抜入学試験・大学入学共通テスト利用入学試験[1科目利用] 描写力(技術)：対象から得た情報を個々の技術でいかに再現出来ているか 観察力：対象の形態、質感、色をどれだけ捉えることが出来ているか 発想力(独自の視点)：画面上において、対象から得た情報を独自の視点で咀嚼、表現出来ているか 構想力(構図)：対象を卓上で組み合わせ、それらを画面上で構築することが出来ているか 表現力(色彩表現)：色彩を用いて対象の魅力をいかに表現出来ているか
大学で用意するもの	P12号の水張りパネル
受験者が用意するもの	水彩用具一式、筆洗、鉛筆、消しゴム、鉛筆削り、描画用具

※2022年度の出題概要は、「2022年度 学生募集要項」をご確認ください。

●総合型選抜入学試験[併願型] 出題のねらい

一般入試と異なり、限られた数(1～2)のモチーフで水彩画の試験を行ないます。対象の構造を理解し、どこまで対象に迫ることが出来るのかということが特に重要です。目前の対象をただ写し取るだけでは無く、対象の細部まで丁寧に観察して質感を捉えていこうとする姿勢、また対象の魅力を引き出していく姿勢を重視します。

●総合型選抜入学試験[併願型] アドバイス

対象の構造を理解し、どこまで対象に迫ることが出来るのかということを重視します。形態を捉えることはもちろんのこと、対象の細部まで丁寧に観察して質感を捉えていこうとする姿勢、そして対象の魅力を引き出そうとする姿勢が大切です。絵の具における色彩表現においては、自身の色彩感覚を大切にして、積極的に色を探りながら筆で丹念に描くことを心掛けてください。

対象を理解した上で、どのように表現するのかということを大切にしてください。そのためには日頃から自分が何に心惹かれるのか、何を伝えたいのかということを問い、制作に励んでください。

●一般選抜入学試験・大学入学共通テスト利用入学試験[1科目利用] アドバイス

対象の構造を理解し、どこまで対象に迫ることが出来るのかということを重視します。形態を捉えることはもちろんのこと、対象の細部まで丁寧に観察して質感を捉えていこうとする姿勢、そして対象の魅力を引き出そうとする姿勢が大切です。構想に対しての感覚も評価のポイントです。与えられた対象を用いて、明確な意図を示した構図、構成を期待します。

絵の具における色彩表現においては、自身の色彩感覚を大切にして、積極的に色を探りながら筆で丹念に描くことを心掛けてください。

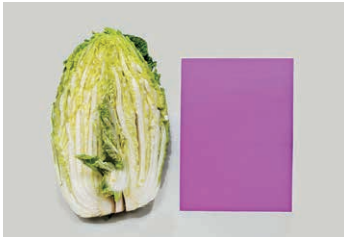
5時間という限られた時間の中で魅力的な画面を作るには、何を主題とするのかをしっかり見極めて制作することが重要です。対象を理解した上で、どのように表現するのかということを大切にしてください。そのためには日頃から自分が何に心惹かれるのか、何を伝えたいのかということを問い、制作に励んでください。

総合型選抜入学試験[併願型]

問題

与えられたモチーフを水彩にて描きなさい。

モチーフ：白菜、画用紙（紫）1枚



参考解答

評価コメント

白菜の形態を理解し、表情や質感、色彩に至るまで、観察がよくいき届いています。白菜をあえて斜めに配置して広がりのある空間を意識し、それに対して画用紙の配置、扱いにも工夫が見られます。白菜の複雑な表情を筆で丹念に描くことが出来ており、特に白菜の光源側に対する描写の熱意が伝わってきます。自らの視点を大切にした表現が出来ている点に好感が持てます。

評価コメント

白菜の質感と特徴をしっかりと捉えることが出来ています。白菜の量感、重さが伝わってきます。色彩表現においては、白菜の様々な色彩を独自の感性で柔らかく表現することが出来ています。また、葉の部分の複雑な情報などを通し、葉脈まで捉えようとする姿勢がよく伝わってきます。白菜の下に敷いた画用紙を観察し、質感まで表現出来たらなお良かったでしょう。

一般選抜入学試験［前期・専願型］
大学入学共通テスト利用入学試験［1科目利用］

問題

与えられたモチーフを水彩にて描きなさい。

モチーフ ：花（トルコキキョウ 1本、カーネーション 2本）、花器、
ブロッコリー、リンゴ、マッシュルーム 2個、画用紙（水色）

参考解答

評価コメント

花と瓶を中心に据え、台に置かれた対象を含めて全体的にバランスよく配置された構成です。花周り、台上と双方の空間の広がりも感じられます。また、花、瓶、野菜果物とそれぞれの対象の特徴をしっかりと捉え、質感と量感を感じさせることが出来ています。形態を捉えることに加えて、対象の細部まで丁寧に観察して質感を捉えていこうとする姿勢、対象の魅力を引き出そうとする姿勢に好感が持てます。

評価コメント

メインとなる花、瓶、台に置かれた野菜果物に至るまで、それぞれの対象をしっかりと捉えることが出来ています。配置構成も吟味され、左からの光源に設定した状況が美しく感じられます。また、色彩表現においても質感を捉えながら筆で丹念に描くことが出来ています。特に、手前のリンゴの質感、奥のブロッコリーの捉え方など、細部まで行き届いた観察と対象の魅力を引き出そうとする姿勢に好感が持てます。

一般選抜入学試験[後期]

問題

与えられたモチーフを水彩にて描きなさい。

モチーフ：花(デルフィニウム2本、フリージア3本)、
花器(ホーローポット、蓋)、バゲット、紫たまねぎ、リボン、雑誌

参考解答

参考解答なし

油彩画　試験時間 300分

出題内容	油彩画制作（アクリル絵の具も可） ◯総合型選抜入学試験［併願型］：静物油彩（F 12号） 器物、ガラス、野菜、果物など複数のモチーフがセッティングされた状況を描く ◯一般選抜入学試験・大学入学共通テスト利用入学試験［1科目利用］：自画像油彩（F 10号） テーマやモチーフの課題に沿って自画像（自身）を描く
評価のポイント	「思考力・判断力・表現力」を評価するため、以下のポイントを重視する ◯総合型選抜入学試験［併願型］ 描画力：対象の形態、質感、色彩を意識し、しっかり描くことが出来ているか 構成力：台上に置かれた複数のモチーフを、適度な大きさで画面上にトリミングし、描くことができているか 空間表現：画面全体のパースペクティブ（遠近感）を把握し、物の前後関係や奥行き、そして背景との繋がりが描かれているか ◯一般選抜入学試験・大学入学共通テスト利用入学試験［1科目利用］ 描画力：対象の形態、質感、色彩を意識し、しっかり描くことが出来ているか 構成力：ポーズやモチーフの画面への入れ方、背景との関係を意識できているか 発想力：出題テーマやモチーフの魅力を引き出すためのアイデアを思考し、自然に表現できているか 素材の扱い：油絵具（アクリル絵具）の素材の特性や、筆やナイフなど画材の扱い方を理解し、活かせているか
大学で用意するもの	◯総合型選抜入学試験［併願型］：F12号のキャンバス ◯一般選抜入学試験・大学入学共通テスト利用入学試験［1科目利用］：F10のキャンバス、鏡
受験者が用意するもの（使用可能用具）	油彩画用具一式（アクリル絵の具も可）、描画道具

※2022年度の出題概要は、「2022年度 学生募集要項」をご確認ください。

●アドバイス

総合型選抜入学試験［併願型］、一般選抜入学試験［前期・専願・後期］、大学入学共通テスト［1科目利用］の各試験は、それぞれ出題が異なります。

総合型選抜入学試験［併願型］は、静物モチーフを油彩で描く課題です。台に布を敷き、自然物や工業製品のモチーフが、どの角度からも同じに観えるよう公平に配置されています。描くときに気を付けてほしい重要なポイントは、台とモノの関係やパースペクティブ、明暗、量感、質感など、基本的なモノの捉え方です。工業製品である瓶やグラス、ブロックなどが正確な比率で描けているか、自然物である野菜や果物、植物がみずみずしく彩り豊かに描けているかなど、モノの形態や特徴、色彩や存在感を意識することが大事です。トリミング（画面を切り取ること）は、モチーフの主役・脇役を考え、全体的に小ぶりにならないように気をつけて下さい。その際に背景の面積の空けすぎにも注意しましょう。モチーフは切れ方や配置が不自然にならないように、大きさや前後関係を考えながら画面の中で多少移動しても構いません。水平の台にモノが安定して置かれている状況や、空間の繋がり（手前・中間・奥）を意識して描いて下さい。

一般選抜入学試験［前期・専願・後期］、大学入学共通テスト利用入学試験［1科目利用］は、自画像を油彩で描く課題です。テーマ内容やモチーフの課題に沿って、自身を自由に描きます。従って総合型選抜入学試験［併願型］に比べて、より自由で幅広い表現が可能です。自画像と背景との関係を考慮しながら、ポーズが画面にどのように入るかを意識して下さい。出題テーマは、具体的な状況イメージを想定して、モチーフ課題はそのモノをどのように扱い画面に入れるかを考え、自然な状況を意識して描いてください。自画像の構図は、顔を適度に大きく入れ、角度や動きを意識すると描くポイントや存在感を演出できますが、アイデア次第ではそうでなくても構いません。テーマから導かれる物語性や、モチーフの特性を捉えた個性的なアイデアを考えてみましょう。その際、あまり不自然な状況になり過ぎないように注意して下さい。支給された鏡を活用し、自身の発想力を最大限に活かしながら自画像を描いて下さい。

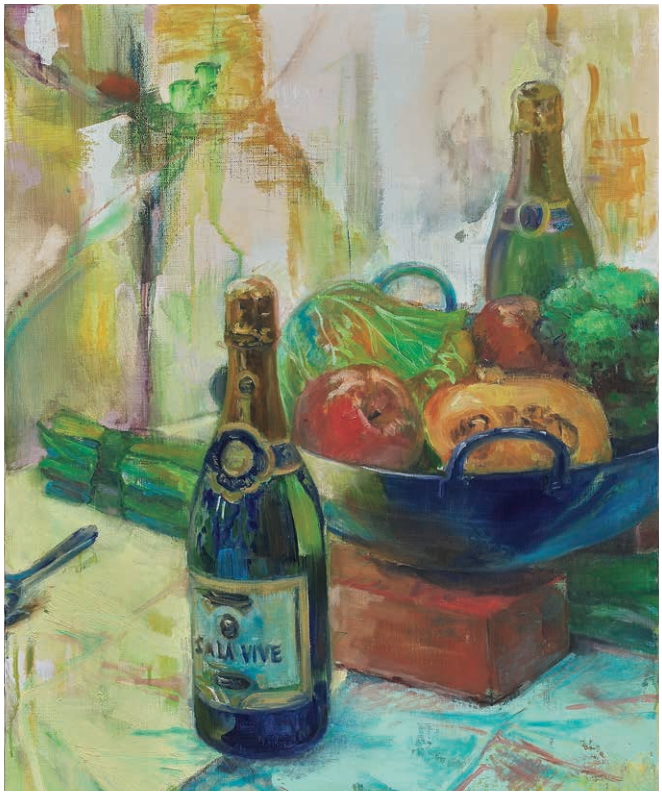
どちらの入試課題も構図は縦横自由です。油絵具（アクリル絵具も使用可）の素材の特性や色彩、物質感を活かしながら、筆やナイフ、布や指などを工夫して使い、自身の感性を引き出すよう楽しく描きましょう。しかし5時間の短い試験時間内ですので、過度なテクニックを求めてはいません。あくまで観察を基本に、対象を的確に捉えながら、しっかり描いて下さい。積極的なアプローチを心がけ、絵心溢れる絵画制作をして下さい。

総合型選抜入学試験[併願型]

問題

油彩にてモチーフを描きなさい。

参考解答



評価コメント

逆光の効果を活かし、手前の瓶の透明感や存在感、野菜や果物の瑞々しい描き込みが印象的な絵です。手前から奥への目線の誘導が心地良く、背景の描き方は抽象的ですが筆使いがリズミカルに表現されていて、画面の魅力を引き立てています。左右の切れ端も意識的に描かれていて、空間の広がりを感じさせます。

評価コメント

野菜の入った中華鍋を大きくメインに配置しながら、個々のモチーフをよく捉えている作品です。ネギやブロックのパースを意識し、台に置かれた状態をしっかり描くことで、安定した画面に仕上がっています。瓶の上を切って背景の面積を少なくし、スプーンやネギの先などの手前の状況を描くことで画面のスケール感を表現しています。グリーンの表現がやや似てしまったのは残念です。

一般選抜試験［前期・専願型］
大学入学共通テスト利用入学試験［1科目利用］

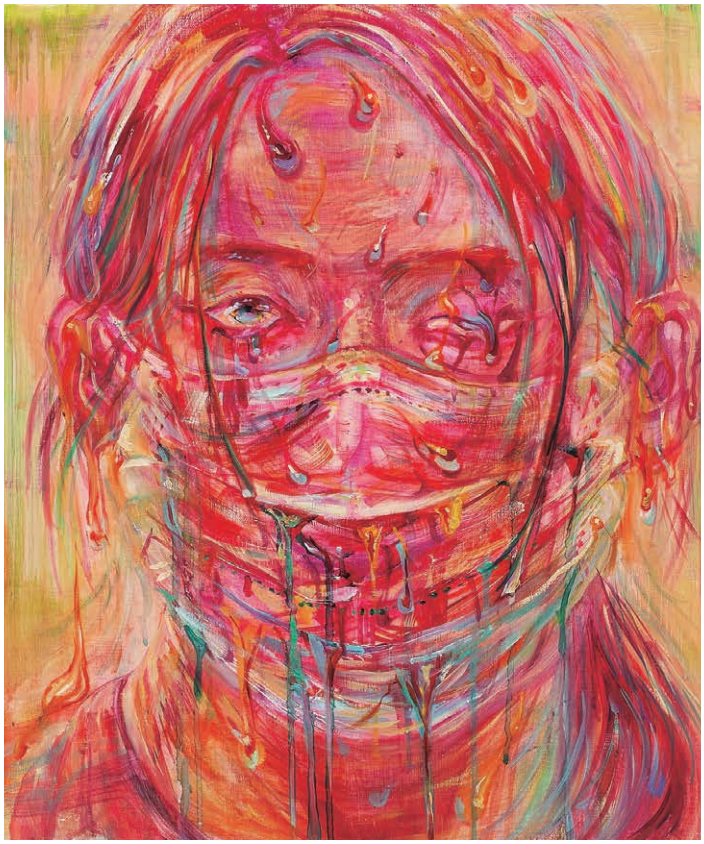
問題

マスクをした自画像を描きなさい。マスクの模様やデザインは自由とする。

参考解答

評価コメント

実直に自画像に向き合っている姿勢がとても良く、身体の持つ量感や構造、質感をよく踏まえて描いています。自然な空気感が漂うような存在感を表し魅力的な描画が窺えます。マスクの模様やデザインは自由とする課題文に対し反応していないのは残念ですが、マスクの持つ薄いリアルな表情が克明に描写されていて評価できます。

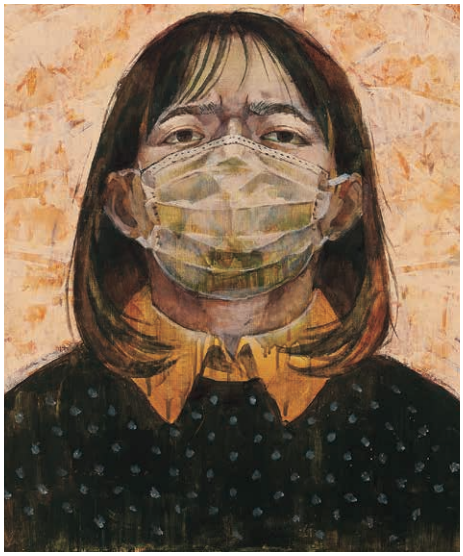


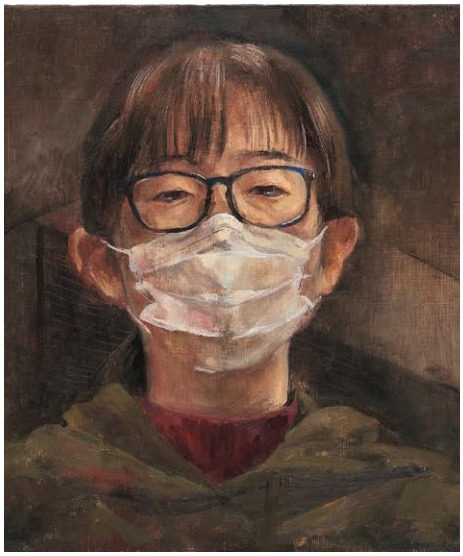
評価コメント

マスクをつけている様が如何にも息苦しそうで、汗が吹き出し色彩と共に表現している点は良いです。暖色系の中に寒色を挟み込み、線的表現を利用したリズム感ある筆致も効果的です。よく描かれた正面の顔とマスクに対して、首周りの構造や背景に回り込む形態が表面的で弱く感じますので、観察を元に描画できると良いでしょう。

評価コメント

私はしゃべらない、あるいはマスクは外せない。×の禁止マークが無言のメッセージを伝えているようです。斜め横向きにしたポーズも良く、表現と相まって光を意識した空間を自然に捉えています。また、コロナ禍を反映したような背景のぼかしも生きています。形態を的確に捉えていますので、筆運びや白色を単調にしない質感表現を期待します。





一般選抜入学試験[後期]

問題

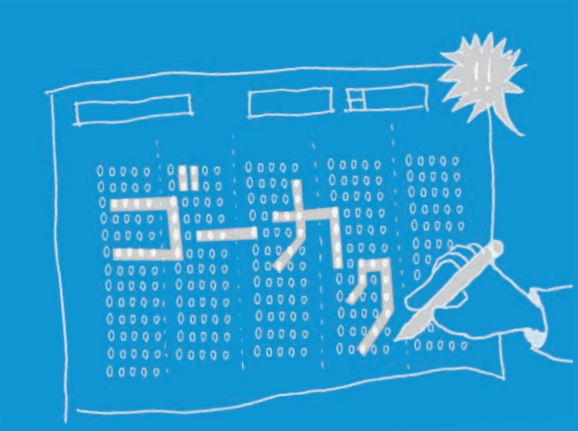
配付されたマスクを着用し、自由に自身を描きなさい。(マスクは配付されたカラーシールで必ず装飾すること。ただし、カラーシールは全て使用しなくともよい。)

モチーフ ：マスク、カラーシール３種

参考解答

評価コメント

カラーシールを派生させて、暖色を基調として補色の緑を効果的に使ったカラフルな色使いが豊かです。髪の毛の色調やメガネの奥にあるしっとりした目の表現がとても魅力的です。正面向きの自画像に動きを与え、マスクを取り外すような仕草を加えているところは良いのですが、形が複雑に重なる所が見づらくなっています。状態を踏まえて描くと良いでしょう。



教科科目

英語 / 国語 / 数学

2021年度出題概要　※2022年度の出題概要は、「2022年度 学生募集要項」をご確認ください。

英語　試験時間 60分

出題範囲	コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ 英語表現Ⅰ（筆記試験のみ）（リスニングテスト及びスピーキングテストは実施しない）
評価のポイント	英語の基本的理解力及び読解力

問題→ P.50 ～ P.59　問題解答→ P.72

国語　試験時間 60分

出題範囲	国語総合（古文・漢文を除く）
評価のポイント	日本語の読解力及び日本語による表現力

問題→ P.60 ～ P.67　問題解答→ P.73

数学　試験時間 60分

出題範囲	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B 空欄補充式（80点）と記述式（20点）による。数学Aについては「場合の数と確率」、「図形の性質」から1題を選択して解答する。数学Bについては「数列」、「ベクトル」から1題を選択して解答する。
評価のポイント	数学の基礎についての理解力

※数学において、基礎についての理解力に加えて、「思考力・判断力・表現力」を評価するために、過程を含めて記載を求める記述式問題を出題します。

問題→ P.68 ～ P.71　問題解答→ P.74 ～ P.76

英　語

第１問　次の A～D の各問いに答えなさい。（配点 50）

A　次の(1)～(5)の発話に対する応答としてもっとも適切なものを下の1～5のうちから一つずつ選び、番号で答えなさい。

(1)　I really appreciate your kindness.
(2)　Oh, I'm so nervous.
(3)　Is Central Building near our hotel?
(4)　How long will it take?
(5)　Should we buy some more?

1　I'm not sure. Let's ask the front desk clerk.
2　Might as well. They are on sale now.
3　Well, it depends.
4　Anytime.
5　Take your time. Otherwise, you might make mistakes.

B　次の(1)、(2)の各文を会話が成立するように並べ替え、番号で答えなさい。
（例）1－3－2－4

(1)
1　That's too bad. Let me know if I can do anything to help.
2　I wish she were. She has to go back for another operation tomorrow.
3　Thanks. That's very kind of you.
4　I hear your mother was in hospital. I hope she's fine now.

(2)
1　Take the North Line.
2　Which line should I take?
3　Excuse me. Can you tell me how to get to the Yamagata Museum?
4　Well, the best way is to go by subway.

C　次の(1)～(6)の空欄に入れるのに最も適当な語を、それぞれ下の1～4のうちから一つずつ選び、番号で答えなさい。

(1)　____ say it's going to rain in the morning.
1　They　2　The sky　3　One　4　Everyone

(2)　The traffic jam prevented him ____ getting to school on time.
1　in　2　from　3　to　4　of

(3)　Take ____ you like.
1　however　2　wherever　3　whichever　4　whenever

(4)　I took it ____ granted that he was on my side.
1　as　2　of　3　with　4　for

(5)　I am not so stupid as ____ its greatness.
1　deny　2　to deny　3　denying　4　to be denied

(6)　Cows provide us ____ milk.
1　with　2　for　3　of　4　into

(7)　They didn't want to ____ the risk of losing it.
1　cut　2　bet　3　run　4　give

(8)　How ____ you speak to me like that!
1　rude　2　long　3　dare　4　far

(9)　A sensible person wouldn't say such a thing ____ public.
1　in　2　for　3　under　4　above

(10)　____ for the traffic jam, I would have caught the train.
1　Although　2　Though　3　However　4　But

(11)　I'm looking forward to ____ the weekend with her.
1　spending　2　spend　3　spent　4　have spent

(12)　We had to call ____ the concert because of rain.
1　off　2　on　3　for　4　up

(13) Get out right now, ____ I will call the police.
1 or 2 and 3 though 4 but

(14) Thanks to their ____ comments after my presentation, I felt very relieved.
1 likely 2 warmly 3 friendly 4 nicely

(15) Mr. Sato gave up smoking for the ____ of his health.
1 care 2 sake 3 aid 4 help

(16) I was in ____ a hurry that I left my purse.
1 too 2 so 3 very 4 such

D 下線部の発音が他の３つと異なるものを一つ選び、番号で答えなさい。
(1) 1 nurse 2 hurt 3 girl 4 heart
(2) 1 allow 2 below 3 own 4 know

第２問 次の A～B の各問いに答えなさい。（配点 50）
* が付された語には【注】が与えられているので、参考にしなさい。

A 次の会話文を読んで、以下の問いに答えなさい。

Silence in Japan

Aoi: Hi Eve. How are your ALT classes going?
Eve: Pretty good Aoi. I must be a good teacher – none of my students have any questions for me!
Aoi: But I thought you said they were preparing for a difficult exam?
Eve: (①), but no one is asking me any questions.
Aoi: Hmm… I think I know what`s going on here. Your students are being polite by not asking you any questions.
Eve: (②)
Aoi: In Japan, students are less likely to ask the teacher questions than students in your country. Students here often don't ask questions because they don't want to disturb the relaxed atmosphere in the class, so they just remain silent.

Jun: (③) There is a culture of silence here in Japan that most Westerners don't know about.
Eve: Wow, this is interesting. Tell me more.
Jun: Well, there are a couple of main reasons why silence is so common in Japan. One has to do (④) history. We Japanese have long treated silence as a kind of virtue, similar to truth. We believe that truth lies inside of us, in the heart or belly. The outer self, such as face, mouth, spoken words and so (⑤), can often be false. So for us, the person of few words is trusted more than someone of many words.
Aoi: And Zen Buddhism, which has had a great influence (⑥) Japan for over a thousand years, emphasizes meditation and silence. To Buddhists, truth cannot be described in words, but can only come to us in moments of silence.
Jun: Eve, are you still taking classes in flower arrangement?
Eve: Yes. I love them. The flowers are beautiful, and the classes are so peaceful and…….
Jun: Quiet! That`s right. Traditional Japanese arts like flower arranging, the tea ceremony, and so on are largely practiced in silence. We believe that silence leads learners to the development of skill and success.
Eve: Didn't you say there was another reason for silence being so common in Japan?
Jun: Yes, the other main reason is the sense of group consciousness.
Eve: I don't understand. You mean people in groups here don't like to talk?
Jun: Well, the harmony and good feeling of the group has always been important in Japanese society. A good way to avoid conflict within the group is not to say anything. That way you don't have to worry about being impolite or hurting someone's feelings.
Eve: In my country it is kind of the opposite. We emphasize verbal expression and communicating opinions and emotions clearly.
Aoi: I know. I often have to explain to foreigners about silence in Japan.
Eve: Well, this conversation has been fascinating, but I really must be going. I have to plan a lesson for tomorrow's class, and I want to prepare some answers to the questions that my students won't ask me!

(1) 文中の①に入れるのに最も適当なものを、下の 1～4 のうちから一つ選び、番号で答えなさい。
1 Well, they're true
2 Well, that's not true
3 Well, they're right
4 Well, that's true

(2)　文中の②に入れるのに最も適当なものを、下の 1～4 のうちから一つ選び、番号で答えなさい。

1　What do they mean?
2　What do you mean?
3　How do you mean?
4　What did you say?

(3)　文中の③に入れるのに最も適当なものを、下の 1～4 のうちから一つ選び、番号で答えなさい。

1　You're right, Eve.
2　He's right, Eve.
3　That's right, Eve.
4　That's Eve, right.

(4)　文中の④～⑥に以下の(A)～(C)の表現を入れるときの正しい順番を、下の 1～6 のうちから一つ選び、番号で答えなさい。

(A) on　(B) with　(C) in

	④	⑤	⑥
1	(C)	(B)	(A)
2	(A)	(C)	(B)
3	(B)	(A)	(C)
4	(A)	(B)	(C)
5	(B)	(C)	(A)
6	(C)	(A)	(B)

(5)　次の [1]～[4] の質問に対する答えを、それぞれ下の 1～4 のうちから一つ選び、番号で答えなさい。

[1]　Which of the following statements is true?
1　Students outside of Japan don't like to ask the teacher questions.
2　Japanese students don't like to ask the teacher questions.
3　Teachers often disturb the relaxed atmosphere in the classroom.
4　Fewer foreign students ask questions than Japanese students do.

[2]　Which of the following statements is false?
1　Many Westerners are not aware of the Japanese preference for silence.
2　To the typical Japanese person, silence is a good thing.
3　Silence is an important part of Japanese culture.

4　Westerners understand why Japanese people like silence.

[3]　Which of the following statements is true?
1　Zen Buddhists are largely responsible for the culture of silence in Japan.
2　In Japan, people who speak a lot are trusted more than those who don't.
3　Japan has influenced Zen Buddhism for over a thousand years.
4　Japanese people believe that the outer self is the center of truth.

[4]　Which of the following statements is false?
1　Because of the importance of the group, Japanese people prefer silence.
2　In Japan, a good way to avoid arguments is to say nothing.
3　Westerners worry about hurting each other, so they frequently express their opinions.
4　In Japan, silence is considered useful for learning new skills.

B　次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

The *do Spirit in Japan**

There are many expressions in the Japanese language that use the kanji *do*, and they are often used to label traditional arts, for example *Kado* (flower arrangement), *Shodo* (calligraphy), *Sado* (tea ceremony), *kendo* (swordsmanship), *bushido* (the way of the warrior), *judo* (the soft way), *aikido*, and so on. The concept of *do* plays an important part in Japanese thinking, and is considered one of the most important cultural values in Japan.

The idea of do comes from China, by way of traditional Chinese Taoist* beliefs of the sixth century (*Tao* is translated as *do* in Japanese). The concept of *Tao* concerns the unity of man and nature, and Taoist techniques aim to bring heaven and earth together through ritual practice, joining our lives with the universal spirit, or *Tao*. It is a way to be followed, a code of behavior connected with the aesthetic and martial arts, that brings enlightenment and allows us to experience our true nature.

The greatest influence Taoism has had in Japan is through Zen Buddhism. The concept of *do* is central to Buddhist thought, and because Buddhism eventually affected all of Japan's intellectual, artistic and social life for over a thousand years, one can see how important the idea of *do* became in Japanese culture.

Traditionally, Zen Buddhist monks were not only involved in religious practices, but were also engaged in creative arts such as literature, painting, architecture, tea ceremony, flower arrangement, and so on.

An important concept of *do* is that it cannot be described, but can only be experienced directly –

it is incommunicable. It cannot be conveyed by words.

Do can only be realized through immediate and direct personal experience. But Zen masters eventually needed a way to pass on instructions to learners, so it became necessary to train masters to teach students. The method of teaching was kept simple, and mainly involved students' imitating movements of the master. Repeating patterns and movements, without change, allows learners to get rid of their thoughts so that they may experience the eternal now, where thought and action are united. This is the essence of the spirit of *do* – becoming one with the action.

Take a tea ceremony for example, where mental discipline, ritualistic movement, and mastery of form allow the participant to achieve an experience outside of time and space. Perfection of form and discipline of movement, from fetching the water to make the tea, to preparing and serving the tea, help to create a state of timeless bliss*. Not thinking, but doing, is the essence of *do* practice.

Today the spirit of *do* continues to influence Japanese culture. Unchanging patterns can be found throughout all walks of life. But one must remember that repetition of form is not the goal. The participant must go beyond the form, rise above it, get rid of all thoughts – then, and only then can they achieve the spirit of *do*.

[注]　*do*：道　　Taoist：老荘（老子と荘子）哲学の　　bliss：無上の喜び

(1)　次の [1]～[5] の空欄に入れるのに最も適当な語を、それぞれ下の 1～4 のうちから一つずつ選び、番号で答えなさい。

[1]　The names of many aesthetic and martial arts in Japan _____ the *kanji do*.
1　call
2　include
3　label
4　describe

[2]　*Do* is an important part of the Japanese _____ system.
1　believing
2　believer
3　believe
4　belief

[3]　Taoism has had a great _____ on Japanese thinking.
1　respect
2　reflect
3　effect
4　infect

[4]　The idea of *do* cannot be _____ . It can only be experienced directly.
1　communication
2　communicated
3　said
4　told

[5]　Practicing *do* allows thought and action to _____ one.
1　become
2　come
3　combine
4　create

(2)　次の [6]～[9] の質問に対する答えを、それぞれ下の 1～4 のうちから一つずつ選び、番号で答えなさい。

[6]　Which of the following statements is true?
1　Taoist beliefs were introduced to China from Japan in the sixth century.
2　Taoists believe the worlds of heaven and earth should remain separate.
3　*Kendo* and *Judo* are traditional martial arts in Japan.
4　*Shodo* and *Sado* are traditional martial arts in Japan.

[7]　Which of the following statements is false?
1　Man and nature are unified through Tao.
2　To unify thought and action is to experience *do*.
3　The Japanese words for flower arrangement and tea ceremony are not alike.
4　The Japanese words for flower arrangement and tea ceremony are similar.

[8]　Which of the following statements is false?
1　Zen monks were only involved in religious activities.
2　Zen monks practiced many aesthetic arts.
3　Taoism strongly influenced Zen Buddhism in Japan.
4　Zen monks were also writers and painters.

[9] Which of the following statements is true?

1 Repetition is not valued today in modern Japan.
2 Repetition of form and unchanging patterns are the ultimate aims of *do*.
3 Participants in the tea ceremony are lost in thought as they practice that timeless art.
4 In unchanging repetition of movements, one can exist outside of time.

(3) 次の [10]〜[12] の英文において、それぞれ下の 1〜3 の語を並べ替えて空欄を補い完成するとき、(　) に入る語はどれか。番号で答えなさい。

[10] Taoist techniques _____ (_____) _____ joining our lives with the universal spirit.
1 concerned　2 are　3 with

[11] The concept of *do* cannot be (_____) _____ _____ .
1 put　2 words　3 into

[12] *Do* _____ _____ (_____) Japanese thinking.
1 central　2 to　3 is

(4) 次の[13]、[14]の問に英語で答えなさい。

[13] What concept is at the core of *do* practice?

[14] If Zen masters could not describe *do* to their students, how did they give instruction to them?

英　語

第1問　次のA～Cの各問いに答えなさい。（配点 50）

A　次の(1)～(5)の発話に続く応答としてもっとも適切なものを下の 1～5 のうちから一つずつ選び、番号で答えなさい

(1)　You look tired. What's wrong?
(2)　Will the president agree with us?
(3)　What do you want to eat for dinner?
(4)　Has his English improved?
(5)　Would you file this in the cabinet?

1　Yes. Quite a bit.
2　I doubt it.
3　I couldn't sleep well last night.
4　Got it.
5　Anything. You name it.

B　次の(1)、(2)の各文を会話が成立するように並べ替え、番号で答えなさい。
（例）1－3－2－4

(1)
1　Which clock do you mean?
2　Oh, of course! I'm sure to get there on time.
3　I'll meet you under the clock at 6:00 tomorrow.
4　The one at Yamagata Station, where we've always met.

(2)
1　Sure.
2　I'm afraid not. I'm using it now.
3　Then could I use it when you've finished?
4　I've forgotten to bring my dictionary. Could I borrow yours?

C　次の(1)～(16)の空欄に入れるのに最も適当な語を、それぞれ下の 1～4 のうちから一つずつ選び、番号で答えなさい。

(1)　Her large income ____ her to travel abroad every summer.
1　able　2　ability　3　makes　4　enables

(2)　Make sure to remind him that the meeting has been put ____.
1　on　2　up　3　down　4　off

(3)　Astonishment deprived me ____ my speech.
1　of　2　in　3　with　4　on

(4)　Read a lot of books, ____ you can develop your vocabulary.
1　otherwise　2　or　3　unless　4　and

(5)　She is always in a state of ____.
1　depress　2　depressing　3　depression　4　depressed

(6)　She did ____ her mother suggested.
1　whatever　2　however　3　whichever　4　whenever

(7)　Paul met Lucy ____ his way home.
1　in　2　through　3　by　4　on

(8)　All you have to do is ____ the clothes.
1　wash　2　to washing　3　for washing　4　to be washed

(9)　We all regard him ____ a great inventor.
1　on　2　as　3　to　4　for

(10)　You had better ____ eat too much.
1　don't　2　to　3　not to　4　not

(11)　Your attitude ____ rise to such a misunderstanding.
1　gave　2　happened　3　made　4　got

(12)　____ your advice, I would have failed.
1　For　2　Without　3　To　4　Unless

(13) Paul got sick, so John attended the meeting in his ____.
1 place　2 duty　3 job　4 responsibility

(14) ___ fiercely did the dog bark that I couldn't get in.
1 Such　2 So　3 Enough　4 As

(15) After a while I got used to ____ cold.
1 beyond　2 been　3 being　4 be

(16) Love is one thing and friendship is ____.
1 other　2 anything　3 another　4 one

D　下線部の発音が他の３つと異なるものを一つ選び、番号で答えなさい。
(1) 1 cl<u>ai</u>m　2 r<u>ai</u>se　3 s<u>ai</u>d　4 p<u>ai</u>d
(2) 1 s<u>ea</u>t　2 sw<u>ea</u>t　3 pl<u>ea</u>se　4 b<u>ea</u>t

第２問　次の A～B の各問いに答えなさい。(配点 50)
* が付された語には[注]が与えられているので、参考にしなさい。

A　次の会話文を読んで、以下の問いに答えなさい。

The Japanese Virtue of Modesty

Hiro: Hi Mike. (①) the dinner party at Suzuki san's house?
Mike: It was great. Suzuki san is an excellent cook. But it's strange – when I told him how great the dinner was, he said it wasn't much at all, just a little snack.
(②)
Hiro: Don't worry Mike, he's just practwicing Japanese modesty.
Mike: (③)
Hiro: Yes, Suzuki san knows that he is talented, but according to how we Japanese interact with each other, he is required to return your compliment with a response of modesty. He is supposed to disagree with you, and deny that he is talented.
Yuna: That's right, Mike. You witnessed a typical Japanese exchange where a person who is given a compliment must respond (④) being modest and humble. This type of behavior is at the core of social interactions in Japan.
Mike: Modesty is that important? Why?

Yuna: Well in Japan, we have what is called a "vertical society." (⑤) means every person has someone who is above or below them. For example, someone is older than you and deserves more respect, another person might be your boss, or your teacher, another person might be more talented than you at something. In such cases, those people are above you (⑥) the social scale.
Hiro: Yes, and at the same time there are those who are below you – people who are younger than you, less experienced, less knowledgeable, less talented, and so on.
Mike: But what does that have to do with having to be humble when you receive a compliment?
Yuna: Japanese people believe every person is entitled to have their honor respected. As Hiro pointed out, there is always someone who is higher than you, someone who deserves more respect. So in social situations, you don't want to appear to be proud of your talents or your position. You must be modest and make yourself appear low, so you can make others around you appear high.
Hiro: In other words Mike, in any social situation, there is always a person higher up the ladder than you are, and you do not want to make the mistake of appearing to be better than that person, in any way. So, to be safe, if you always appear to be humble, you can be sure you won't make anyone feel they are below you. In Japanese society, such consideration for others is encouraged.
Yuna: So Mike, Suzuki san's modesty is a kind of social politeness that he uses so he won't harm the feelings of others – it has nothing to do with his own identity as a good cook.
Mike: Yuna, I am so relieved. Now I can really look forward to playing tennis with Suzuki san on Saturday. And if I defeat him, I can just tell him what a terrible player I am!

(1) 文中の①に入れるのに最も適当なものを、下の 1～4 のうちから一つ選び、番号で答えなさい。
1 Was
2 How was
3 Where was
4 What was

(2) 文中の②に入れるのに最も適当なものを、下の 1～4 のうちから一つ選び、番号で答えなさい。
1 You're a little confusing.
2 You're a little confused.
3 I'm a little confusing.
4 I'm a little confused.

(3) 文中の③に入れるのに最も適当なものを、下の 1～4 のうちから一つ選び、番号で答えなさい。

1 Really?
2 Really.
3 Don't you know?
4 I don't know.

(4) 文中の④～⑥に以下の(A)～(C)の表現を入れるときの正しい順番を、下の 1～6 のうちから一つ選び、番号で答えなさい。

(A) on (B) by (C) that

	④	⑤	⑥
1	(C)	(B)	(A)
2	(A)	(B)	(C)
3	(B)	(A)	(C)
4	(C)	(A)	(B)
5	(B)	(C)	(A)
6	(A)	(C)	(B)

(5) 次の [1]～[4] の質問に対する答えを、それぞれ下の 1～4 のうちから一つ選び、番号で答えなさい

[1] Which of the following statements is false?

1 Suzuki san is talented, but modest.
2 Suzuki san disagrees with Mike about the dinner.
3 Suzuki san is an excellent cook, but doesn't know it.
4 Suzuki san is an excellent cook, and he knows it.

[2] Which of the following statements is true?

1 Because of concerns about modesty, Suzuki san should agree that he is a good cook.
2 According to Japanese custom, Suzuki san must deny a compliment given to him.
3 Suzuki san is confused about the dinner.
4 Mike is a little strange at the beginning.

[3] Which of the following statements is false?

1 Position is everything in Japanese society.
2 All Japanese must consider their relative level in society.
3 Japanese society is a system of social hierarchy.
4 Some people don't have a position in Japan's social structure.

[4] Which of the following statements is true?

1 All levels of people in Japan deserve respect.
2 In Japan, it is polite to agree with someone when they give you a compliment.
3 To be sure you don't harm other people's feelings, you should never be too humble in Japan.
4 It is safe to appear proud of your talents or position in Japanese society.

B 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

Childrearing* Practices in Japan vs. America

It is not surprising that children are raised differently in Japan than they are in America. For the reasons why this is so, we have to look at some of the basic social principles of both countries.

Modern Japanese culture is based on traditional agriculture, and in such a society it is important for people to cooperate closely as a group, so that the rice and other crops can be grown successfully. Therefore, the principles of raising children are focused on creating members of society who can get along with others in the group. Individualism is not favored, nor is it needed, as Japanese people are protected within the group.

This contrasts sharply with how the individual is regarded in American society. With a history steeped in the pioneering spirit, Americans consider a strong individual to be important in society. Thus childrearing practices in America focus on raising individuals who are self-reliant, creative, and independent. Let us look at how mothers in Japan and America raise their children differently.

Japanese mothers take a somewhat hands-off approach to raising their children, expecting that children will eventually learn correct group behavior by imitating adults. Explaining rules of correct behavior and exerting strong authority over their children are not considered necessary by most mothers in Japan. Providing them with good role models for behavior is considered enough.

American mothers on the other hand tend to systematically explain to their children how they should behave. Mothers in America are more vocal, and try to teach their children by explaining laws and rules of good behavior, and they often use their authority as parents to enforce correct behavior in their children.

Japanese parents rarely discipline their children in a severe manner, or punish their children in order to force them to be obedient. Japanese mothers do not tend to enforce rules, and there is little pressure to demand obedience. Mothers expect that their children will gradually learn how to behave correctly, by becoming cooperative members of the group.

American mothers, however, tend to react when their children misbehave, and do not hesitate to use compulsive techniques with their children. Mothers will make clear demands of their children, and enforce rules when children resist. American mothers do not want to appear weak in dealing with their children's bad behavior, and punishment is sometimes considered necessary.

So while Japanese mothers are content to wait until their children gradually learn institutional values, American mothers consider it bad parenting to let go of authority, and they refuse to accept children's selfish or bad behavior.

We can see then that there are major differences between raising children in Japan vs. raising children in America. That is not to suggest that one method is better than another. Rather, both countries have historical and cultural reasons for raising their children as they do, and it would be surprising indeed if methods for raising children were the same in both cultures.

[注]　childrearing：子育て　　hands-off：不干渉の

(1)　次の [1]～[5] の空欄に入れるのに最も適当な語を、それぞれ下の 1～4 のうちから一つずつ選び、番号で答えなさい。

[1]　To compare childrearing in Japan and America, it is important to look at the historical _____ of both countries

1　backdrop
2　backlog
3　background
4　backplay

[2]　America has a history influenced _____ the pioneering spirit.

1　with
2　by
3　for
4　to

[3]　Mothers in Japan are generally not as _____ with their children as American mothers are.

1　authority
2　correct
3　discipline
4　strict

[4]　Japanese mothers hope their children will, over time, learn to _____ the good behavior of their parents.

1　copying
2　will copy
3　copy
4　copied

[5]　American mothers seem to be less _____ with their children than Japanese mothers are with theirs.

1　patience
2　patient
3　impatient
4　hard

(2)　次の [6]～[9] の質問に対する答えを、それぞれ下の 1～4 のうちから一つずつ選び、番号で答えなさい。

[6]　Which of the following statements is false?

1　The article implies that one method of raising children is better than another.
2　Japanese and American mothers have their own unique approaches to raising their children.
3　Japanese children grow up differently than American children.
4　American mothers try to control their children more than Japanese mothers do.

[7]　Which of the following statements is true?

1　The individual is most important in Japanese society.
2　Standards of cooperation in society are higher in America than in Japan.
3　American mothers want to raise strong individuals.
4　America's history of agriculture has a strong influence on how American mothers raise their children.

[8]　Which of the following statements is false?

1　American children are more likely to be disciplined than Japanese children.
2　Japanese mothers tend to let their children figure out how to act in society.
3　American mothers feel the need to explain rules of behavior to their kids.
4　Japanese and American mothers can agree on the best way to raise children.

[9] Which of the following statements is true?

1 Bad behavior in American children is seldom met with discipline by mothers.

2 History dictates to some extent how children are raised in America and Japan.

3 It is surprising that Japanese and American mothers raise their children differently.

4 Japanese mothers are strong authority figures for their children.

(3) 次の [10]〜[12] の英文において、それぞれ下の 1〜 3 の語を並べ替えて空欄を補い完成するとき、( ) に入る語はどれか。番号で答えなさい。

[10] Americans tend to _____ _____ (_____) themselves rather than seek safety in the group.

1 out 2 for 3 look

[11] Most Japanese mothers don't _____ (_____) _____ to discipline their kids.

1 important 2 consider 3 it

[12] There is _____ _____ (_____) between how Japanese and American mothers raise their children.

1 contrast 2 big 3 a

(4) 次の[13]、[14]の問に英語で答えなさい。

[13] Why do Japanese and American mothers raise their children differently? Give some historical or cultural reasons to support your answer.

[14] What are some negative points about how Japanese mothers raise their children? What are some positive points?

国語

問題　次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

われわれは今、恐るべき「専門化」の時代に生きている。

自然科学者と社会学者とのあいだに、美術批評家と天文学者のあいだに、共通に理解できる言葉は日に日に少なくなって行く。人間とは何か、というような問いについて、経済学者と文芸批評家のあいだに、それぞれが満足できる共通の言葉は考えにくくなって来た。

人間が知り、人間が作るもののすべてを包んで、それを「文明」とか「文化」とか呼ぶことが、かつては疑いなく可能であった。ゲーテのような天才は、自然科学から文学や哲学の世界まで、ひとりで見渡し、それを同一の言葉で語ることができた。しかし、どんな天才でもこの二十世紀の後半このかた、人間をそのような大きな全体像のなかで考えることはむずかしくなった。

A　それにもかかわらず、現代人はやはり毎日の生活というものに生きている。そしていうまでもなく、どんな人にも日常生活を専門化して生きることは許されない。どんな詩人も飯を食わねばならず、どんな天文学者も小説を読む隣人とつきあわなければならない。「文明」の全体像がどれほど摑みにくくなっても、われわれは最小限度、文明人としての常識を欠いては生きられない。人生とはどういうものかということが、体系的ではなくても、ある程度まとまったかたちで把握されていなければならないのである。

逆説的だが見方を変えると、現代人はこの文明の常識を、むしろいかなる時代の人間よりもせっかちに求めている。人びとは、争って専門知識の啓蒙書を読み、争って平均的な高等教育を受けようとあせっている。自然科学者が芸術に無知であったり、小説家が社会的に非常識であったりすることが、今日では昔よりもかえって強く責められるようになった。なかでも、政治的なイデオロギーについて、現代人は共通した常識を持つことがほとんど義務のように考えられている。

皮肉な話だが、(1)「知識」が「専門化」すればするほど、同時に人間は急速に「平均化」しつつあるといえる。人間が細分化され、人間性が失われて行くのと並行して、他方ではそれを回復すると称して、①クウソな政治スローガンがわれわれを(2)偽の常識に誘惑する。

B　文明の常識というものは、ほんらい人間にとって、ひとつの暗黙の了解のようなものではなかっただろうか。自然の感じかた、②キキョ動作の作法、基本的なモラルの感情など、いずれも言葉に出して教えられぬものが文明の根底にある。それはあらゆる専門知識のまえにあり、それどころか、人間が常識的におこなうすべての行為の以前にある。人間をほんとうに根底から支配するものは、けっして大学で教える「一般教養」のように、けっきょくは知識にすぎないものの足し算ではなかったはずである。

C　燃える火を、西洋人はまず永遠の光として感じとり、その側面を強調するように美しいランプの芸

術を作りあげた。それにたいして日本人は、むしろ火を燃えては消える過程として感じとり、花火のなかにその変化の全貌をより美しく実現しようとした。そうした感受性は、日本文化、西洋文化それぞれの底にあって、人間の行動や認識の型を暗黙のうちに決定しているといえる。

D　このような感覚は、かつてはわれわれの日常生活のなかに、今よりもはるかに③センメイなかたちで生きていたのである。季節ごとに花を飾り、祭を楽しみ、塗りの食器をとりかえたりする生活は、自然に触れる人間のもっとも根底的な感覚を磨きあげる。いちいち口に出していわなくても、人間どうしが、いかなる暗黙の了解のなかに生きているかを、身に沁みて実感させるのである。そういう伝統的な生活環境のなかでは、人間は文明の全体像など見えなくても安心して暮らすことができた。あらためて「一般教養」など身につけようとしなくても、かつての江戸っ子の職人のように、ときには非常識なままで、しかも（3）人間として統一ある生活を生きることができたのである。

E　職人がせびろを着た勤め人に変わるにつれて、人びとはもはや、そういう④ムジャキな生活をすることが難しくなった。なぜならば、専門化と平均化のはさみうちを受けて、現代人はともすれば、身辺にあるもののこまやかな表情を見失いがちだからである。ランプを見ても花火を見ても、今では親と子が、それに同質の喜びや悲しみを見出しているという保証はない。毀れかけているものは、ゲーテが見ていたような合理的な文明像ばかりではない。古典的文化とか、キリスト教文化とか、ものものしく、体系的な文明の統一が毀れかけているばかりではない。（4）われわれは身辺の玩具や、ささやかな家具が語っている言葉を共通に理解できなくなっているのである。

どのような暗黙のリズムが、われわれの毎日の生活を静かに統一しているか。どのような現象が、今日そのリズムを醜くかき乱しているか。それを「批評」というかたちで、わざわざ言葉にあらわさねばならない現代は不幸な時代である。「文明批評」などという奇妙な仕事は、それ自体、文明が病んでいるということの証拠としてあるのかもしれない。けれども、まさにそのような時代であればこそ、現代の文明批評には新しい任務が生まれたともいえる。もちろん、それは専門的な知識を使って問題を指摘したり、新しい統一的な世界像を⑤セイキュウに描いて見せることではない。むしろ、必要なことはその正反対であって、身辺のあらゆる些事について、共通の感覚をことばによって恢復させる仕事である。本来ならばあらためていう必要もなく、いえばかえって嘘になるような生活の了解を、ひとつひとつ忘却の淵からひろい出して来る仕事である。いいかえれば、現代の生活のスタイルを、それなりに言葉によって再確認する作業であるが、いずれにせよ、（5）こういう文明批評がどこかもの悲しい仕事であることに変わりはない。

（山崎正和『混沌からの表現』による。なお、本文に一部変更がある。）

問1　傍線部①～⑤のカタカナ部分を漢字に直しなさい。

問2　文中の［　　］A～Eに入るべきことばの組み合わせとして適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア　A（だが）　B（たとえば）　C（そして）　D（だが）　E（一方）
イ　A（だが）　B（一方）　C（だが）　D（たとえば）　E（そして）
ウ　A（たとえば）　B（そして）　C（だが）　D（一方）　E（だが）
エ　A（一方）　B（だが）　C（たとえば）　D（そして）　E（だが）
オ　A（そして）　B（だが）　C（一方）　D（だが）　E（たとえば）

問3　波線部（1）にみられる、「専門化」と「平均化」とはどのような現象か。（　）内の指示に従い、次の文章にあうかたちで適切な表現を抜き出しなさい。

「専門化」とは、細分化された専門化の間で（Ⅰ　二十五字以内の表現の前後五字）現象。

「平均化」とは、共通した文明の常識を得ようと（Ⅱ　四十字以内の表現の前後五字）現象。

問4　波線部（2）について次の問いに答えなさい。

Ⅰ　「偽の常識」を言い換えている表現を十五字以内で抜き出しなさい。

Ⅱ　また、「ほんらいの常識」とはどんなものであると説明しているか。十五字以内で二つ抜き出しなさい。

問5　波線部（3）についてその理由を述べた、次の解説文の空欄に適切な表現を補足して完成させなさい。なお、同じ表現が入る。

統一ある生活とは、言葉以外の感受性である「　　」によって行動や認識の型が支配されていることであり、日常生活のなかに「　　」を実感し、その感覚を磨きあげる機会が多くあったから。

問6　波線部（4）についての説明として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア　細分化された専門家の間では共通に理解できる言葉が失われているから。
イ　親子の世代間ギャップが知識の専門化・平均化によって広がってきたから。
ウ　体系的な文明の統一が毀れかけていて人間を大きな全体像のなかで考えられないから。
エ　現代においては文明の根底にあった人間の行動や認識の型が失われつつあるから。
オ　現代は不幸な時代であり批評家のことばによって共通感覚を回復するしかないから。

問7　波線部（5）について、なぜそう言えるかについて解説した次の文章を完成させなさい。空欄の条件に従って、文章にあうかたちで適切な表現を抜き出しなさい。

文明批評は「Ⅰ 四十字以内の表現の前後五字」が、それはまた「Ⅱ 十六字の表現」い生活の了解をわざわざ言葉にあらわすという「Ⅲ 三字の表現」作業であり、それ自体が「Ⅳ 十六字の表現」としてあるようなものだから。

国語

問題　次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

私は今、多摩川にほど近い場所に住んでいて、よく水辺を散策する。川面を吹き渡ってくる風を心地よく感じながら、陽光の反射をかわして水の中を覗き込むと、そこには実にさまざまな生命が息づいていることを知る。水面から突き出た小さな三角形の石に見えたものが亀の鼻先だったり、流れにたゆたう糸くずと思えたものが稚魚の群れだったり、あるいは水草に①絡まった塵芥（じんかい）と映ったものが、トンボのヤゴであったりする。

そんなとき、私はふと大学に入りたての頃、生物学の時間に教師が問うた言葉を思い出す。人は瞬時に、生物と無生物を見分けるけれど、それは生物の何を見ているのでしょうか。そもそも、生命とは何か、皆さんは定義できますか？

私はかなりわくわくして続きに期待したが、結局、その講義では明確な答えは示されなかった。生命が持ついくつかの特徴――たとえば、細胞からなる、ＤＮＡを持つ、呼吸によってエネルギーを作る――、などを列挙するうちに夏休みが来て日程は終わってしまったのである。

（1）なにかを定義するとき、属性を挙げて対象を記述することは比較的たやすい。しかし、対象の本質を明示的に記述することはまったくたやすいことではない。大学に入ってまず私が気づかされたのはそういうことだった。思えば、それ以来、生命とは何かという問題を考えながら、結局、明示的な、つまりストンと心に落ちるような答えをつかまえられないまま今日に至ってしまった気がする。それでも今の私は、二十数年来の問いを次のようにあとづけることはできるだろう。

生命とは何か？　それは自己複製を行うシステムである。二十世紀の生命科学が到達したひとつの答えがこれだった。一九五三年、科学専門誌『ネイチャー』にわずか千語（一ページあまり）の論文が②ケイサイされた。そこには、ＤＮＡが、互いに逆方向に結びついた二本のリボンからなっているとのモデルが提出されていた。生命の神秘は二重ラセンをとっている。多くの人々が、この天啓を目の当たりにしたと同時にその正当性を信じた理由は、構造のゆるぎない美しさにあった。しかしさらに重要なことは、（2）構造がその機能をも明示していたことだった。論文の若き共同執筆者ジェームズ・ワトソンとフランシス・クリックは最後にさりげなく述べていた。この対（つい）構造が直ちに自己複製機構を③シサすることに私たちは気がついていないわけではない、と。

ＤＮＡの二重ラセンは、互いに他を写した対構造をしている。そして二重ラセンが解けるとちょうどポジとネガの関係となる。ポジを元に新しいネガが作られ、元のネガから新しいポジが作られると、そこには二組の新しいＤＮＡ二重ラセンが誕生する。ポジあるいはネガとしてラセン状のフィルムに書き込まれている暗号、これがとりもなおさず遺伝子情報である。これが生命の〝自己複製〟システムであり、新たな生命が誕生するとき、あるいは細胞が分裂するとき、情報が伝達される仕組みの根幹をなしている。

ＤＮＡ構造の解明は、(3)分子生物学時代の幕を切って落とした。ＤＮＡ上の暗号が、細胞内のミクロな部品の規格情報であること、それがどのように読み出されるのかが次々と解明されていった。一九八〇年代に入ると、ＤＮＡ自体をいわば極小の外科手術によって切り貼りして情報を書き換える方法、つまり遺伝子操作技術が誕生し分子生物学の黄金期が到来した。もともとは野原に昆虫を追い、水辺に魚を捕らえることに夢中で、ファーブルや今西錦司のようなナチュラリストを夢見ていた私も、時代の熱に逆らうことはできなかった。いやおうなく、いや、むしろ進んでミクロな分子の世界に突き進んでいった。そこにこそ生命の鍵があると。

分子生物学的な生命観に立つと、生命体とはミクロなパーツからなる精巧なプラモデル、すなわち分子機械に過ぎないといえる。デカルトが考えた機械的生命観の究極的な姿である。生命体が分子機械であるならば、それを巧みに操作することによって生命体を作り変え、〝改良〟することも可能だろう。たとえばすぐにそこまでの応用に到達できなくとも、たとえば分子機械の部品をひとつだけ働かないようにして、そのとき生命体にどのような異常が起きるかを観察すれば、部品の役割をいい当てることができるだろう。つまり生命の仕組みを分子のレベルで解析することができるはずである。このような考え方に立って、(4)遺伝子改変動物が作成されることになった。〝ノックアウト〟マウスである。

私は膵臓（すいぞう）のある部品に興味を持っていた。膵臓は消化酵素を作ったり、インシュリンを分泌して血糖値をコントロールしたりする重要な臓器である。この部品はおそらくその存在場所や存在量から考えて、重要な細胞プロセスに関わっているに違いない。そこで、私は遺伝子操作技術を④クシして、この部品の情報だけをＤＮＡから切り取って、この部品が欠損したマウスを作った。ひとつの部品情報が叩き壊（ノックアウト）されているマウスである。このマウスを育ててどのような変化が起こっているのかを調べれば、部品の役割が判明する。マウスは消化酵素がうまく作れなくなって、栄養失調になるかもしれない。あるいはインシュリン分泌に異常が起こって糖尿病を発症するかもしれない。

長い時間とたくさんの研究資金を投入して、私たちはこのようなマウスの受精卵を作り出した。それを仮母の子宮に入れて子供が誕生するのを待った。母マウスは無事に出産した。赤ちゃんマウスはこのあと一体どのような変化を来たすであろうか、私たちは［　A　］観察を続けた。子マウスはすくすくと成長した。そしておとなのマウスになった。なにごとも起こらなかった。栄養失調にも糖尿病にもなっていない。血液が調べられ、顕微鏡写真がとられ、ありとあらゆる精密検査が行われた。どこにもとりたてて異常も変化もない。(5)私たちは困惑した。一体これはどういうことなのか。

実は、私たちと同じような期待をこめて全世界で、さまざまな部品のノックアウトマウス作成が試みられ、そして私たちと同じような困惑あるいは落胆に見舞われるケースは少なくない。予測と違って特別な異常が起きなければ研究発表もできないし、論文も書けないので正確な研究事例は⑤ケンザイ化しにくい。が、その数はかなり多いのではないだろうか。

私も最初は落胆した。もちろん今でも半ば落胆している。しかしもう半分の気持ちでは、実は、(6)ここに生命の本質があるのではないか、そのようにも考えてみられるようにもなってきたのである。

遺伝子ノックアウト技術によって、パーツを一種類、ピースをひとつ、完全に取り除いても、何らかの方法

でその欠落が埋められ、バックアップが働き、全体が組みあがってみると何ら機能不全がない。生命というあり方には、パーツが張り合わされて作られるプラモデルのようなアナロジーでは説明不可能な重要な特性が存在している。ここには何か別のダイナミズムが存在している。私たちがこの世界を見て、そこに生物と無生物とを識別できるのは、そのダイナミズムを感得しているからではないだろうか。では、その〝動的なもの〟とは一体なんだろうか。

私は一人のユダヤ人科学者を思い出す。彼は、ＤＮＡ構造の発見を知ることなく、自ら命を絶ってこの世を去った。その名をルドルフ・シェーンハイマーという。彼は、生命が「動的な平衡状態」にあることを最初に示した科学者だった。私たちが食べた分子は、⑥瞬く間に全身に散らばり、一時、⑦緩くそこにとどまり、次の瞬間には身体から抜け出て行くことを証明した。つまり私たち生命体の身体はプラモデルのような静的なパーツから成り立っている分子機械ではなく、パーツ自体のダイナミックな流れの中に成り立っている。

私は先ごろ、シェーンハイマーの発見を手がかりに、私たちが食べ続けることの意味と生命のあり方を、狂牛病禍が問いかけた問題と対置しながら論考してみた（『もう牛を食べても安心か』文春新書、二〇〇四）。この「動的平衡」論をもとに、生物を無生物から区別するものは何かを、私たちの生命観の⑧ヘンセンとともに考察したのが本書である。私の内部では、これが大学初年度に問われた問い、すなわち［　B　］、への接近でもある。

（福岡伸一『生物と無生物のあいだ』による。なお、本文に一部変更がある。）

問1　傍線部の①・⑥・⑦の読みをひらがなで答え、②・③・④・⑤・⑧のカタカナ部分を漢字に直しなさい。

問2　波線部(1)「なにかを定義するとき」の対照的な方法を二つ、それぞれ十六字以内で抜き出しなさい。

問3　波線部(2)「構造がその機能をも明示していた」について、具体的にはどのような構造か(Ⅰ)、また、その機能を簡潔にどう言い換えているか(Ⅱ)。
それぞれ十字程度の表現を抜き出して答えなさい。

問4　波線部(3)「分子生物学」について、対照的な立場にある人々をなんと表現しているか(Ⅰ)。
また、「分子生物学」による生命の定義を説明している箇所を、初めと終りのそれぞれ五字を抜き出しなさい(Ⅱ)。

問5　波線部(4)「遺伝子改変動物が作成される」のは、どのような目的で作成されるのか、二十字の表現を抜き出して答えなさい。

問6　波線部(5)「私たちは困惑した」理由について説明している四十字以内の表現を、解答欄のかたちに合わせて初めと終りの五字を抜き出しなさい。

問7　波線部(6)「ここに生命の本質があるのではないか」について、「生命の本質」を示す表現が三通りに言い換えられている、それぞれ四～七字以内で抜き出して答えなさい(Ⅰ)。
また、「生命の本質」についての相反する二つの考えが示されている。それぞれ二十五字以内の表現を抜き出して答えなさい(Ⅱ)。

問8　文中の［A］には、「事のなりゆきを案じて息をこらす」の意の慣用句が入る。次からふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

ア　骨身を削って　　イ　呼吸を止めて　　ウ　息を殺して
エ　固唾(かたず)を呑んで　　オ　生唾(なまつば)を飲んで

問9　文中の［B］には、この文章の要(かなめ)ともいうべき表現が入る。本文中から適切なものを抜き出しなさい。

数　学

第１問，第４問は必答問題である。**第２問，第３問**はそれぞれについて１問を選択する問題である。（第１問～第３問の配点は 80，第４問の配点は 20）

第１問（必答問題）　次の各問の［　　］に当てはまる数式または数値等を，解答用紙のそれぞれの欄に書きなさい。

問１　次の式を計算せよ。

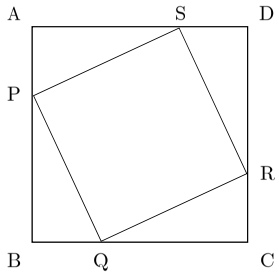
(1)　$-x^2\left(-x^2\right)^3\left(-x\right)^4 =$ ［ア］

(2)　$2\left(a-b\right)^2-b\left(2a-b\right)-3\left(a-b\right)^2 =$ ［イ］

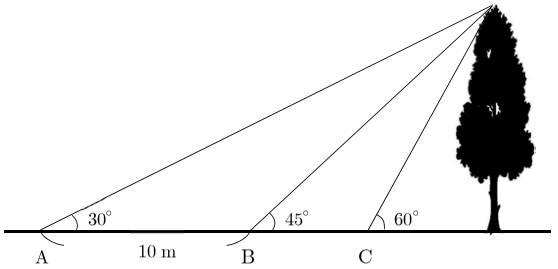
(3)　$\sqrt{3}\left(4\sqrt{3}-5\sqrt{6}\right) =$ ［ウ］

(4)　$\dfrac{\sin 60^\circ}{\tan 60^\circ}-\dfrac{\sin 45^\circ}{\cos 45^\circ} =$ ［エ］

問２　１辺の長さが a の正方形 ABCD において，図のように辺 AB，BC，CD，DA 上にそれぞれ点 P，Q，R，S を AP = BQ = CR = DS となるようにとる。AP = x $(0 < x < a)$ としたとき，△APS の面積は［オ］であり，四角形 PQRS の面積は［カ］となる。また，四角形 PQRS の面積の最小値は［キ］である。



問３　木の高さを測るのに，ある地点 A から木の先端の仰角を測ったら 30° であった。つぎに木に向かって 10 m 進んだ地点 B で，再び仰角を測ったら 45° であった。このことから木の高さは［ク］m であることが分かる。さらに，地点 B から木に向かって進んだ地点 C で仰角を測ったら 60° であった。このとき，B と C の距離は［ケ］m である。



問４　x の方程式 $x^4-7x^3+ax^2+bx-48=0$ が $x=2$，$x=-2$ を解に持つとき，定数 $a =$［コ］，$b =$［サ］である。また，その他の解は［シ］と［ス］である。

第２問（選択問題）　**問Ａ，問Ｂ**いずれかを選択し，次の［　　］に当てはまる数式または数値等を，解答用紙のそれぞれの欄に書きなさい。

問Ａ　数字の 1 と書かれたカードが 3 枚，数字の 2 と書かれたカードが 4 枚，数字の 3 と書かれたカードが 5 枚，合計 12 枚のカードが袋の中に入っている。この袋から 3 枚のカードを取り出す。このとき，取り出したカードの数が 3 枚とも 3 である確率は［セ］である。また，3 枚のカードの数がすべて同じである確率は［ソ］である。また，3 枚のカードの数の和が偶数である確率は［タ］である。

問Ｂ　△ABC において，辺 BC の中点を M とし，∠AMB，∠AMC の二等分線が辺 AB，辺 AC と交わる点をそれぞれ D，E とする。AM = 10，BC = 30 であるとき，AD と DB の長さの比は［セ］であり，DE の長さは［ソ］である。また△ABC の面積は△ADE の面積の［タ］倍である。

第３問（選択問題）　**問Ｃ**，**問Ｄ**いずれかを選択し，次の［　　］に当てはまる数式または数値等を，解答用紙のそれぞれの欄に書きなさい。

問Ｃ　平面上に３点 A(2，1)，B(−1，2)，C($\sqrt{2}+1$，$\sqrt{2}$)がある。このとき $\overrightarrow{AB}$ の大きさは，$|\overrightarrow{AB}|=$［チ］である。また，$\overrightarrow{AB}$ と $\overrightarrow{AC}$ のなす角を θ とするとき，$\cos\theta$ の値は［ツ］であり，△ABC の面積は［テ］である。

問Ｄ　数列$\{a_n\}$ ：　3，5，9，17，33，65，…… がある。このとき，数列$\{a_n\}$の階差数列を$\{b_n\}$とすると，一般項は$b_n=$［チ］である。これより，数列$\{a_n\}$の一般項は$a_n=$［ツ］である。また，数列$\{a_n\}$の初項から第 n 項までの和は［テ］である。

第４問（必答問題）　次の問の解答を，過程を含めて指定の欄に記述しなさい。

関数 $y=f(x)$ のグラフは点 A(3，4)を通り，このグラフ上の各点$(x，y)$における接線の傾きは $-3x^2+12x-9$ である。このとき，次の問に答えよ。

(1)　関数 $y=f(x)$ を求めよ。

(2)　関数 $y=f(x)$ の増減や極値，軸との交点を調べ，グラフの概形をかけ。

数　学

第１問，第４問は必答問題である。**第２問，第３問**はそれぞれについて１問を選択する問題である。（第１問～第３問の配点は 80，第４問の配点は 20）

第１問（必答問題）　次の各問の［　　］に当てはまる数式または数値等を，解答用紙のそれぞれの欄に書きなさい。

問１　次の式を計算せよ。

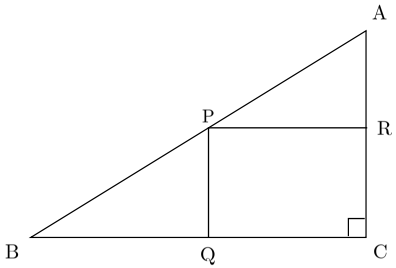
(1) $\left(-2ab^2\right)^3\left(3a^3b\right)^2 =$ ［ア］

(2) $\dfrac{\sqrt{3}+1}{\sqrt{3}-1}+\dfrac{\sqrt{3}-1}{\sqrt{3}+1} =$ ［イ］

(3) $i^5+i^6 =$ ［ウ］　（ただし，i は虚数単位）

(4) $(\sin\theta+\cos\theta)^2+(\sin\theta-\cos\theta)^2 =$ ［エ］

問２　図のように，BC＝10，AC＝6，∠C＝90° の直角三角形 ABC の辺 AB 上に点 P，辺 BC 上に点 Q，辺 AC 上に点 R をとり，長方形 PQCR をつくる。PQ＝x　（$0<x<6$），PR＝y としたとき，y を x の式で表すと $y=$［オ］であり，長方形 PQCR の面積を x の式で表すと［カ］となる。また，長方形 PQCR の面積の最大値は［キ］である。



問３　△ABC において，BC＝3，∠A＝60°，∠B＝45° のとき，AC＝［ク］であり，面積は［ケ］である。

問４　2 点 A(0, 0)，B(0, 12) からの距離の比が 1 : 5 である点 P の軌跡は線分 AB 上の点［コ］を通る。そして，点 P の軌跡は中心［サ］，半径［シ］の円である。

第２問（選択問題）　**問Ａ**，**問Ｂ**いずれかを選択し，次の［　　］に当てはまる数式または数値等を，解答用紙のそれぞれの欄に書きなさい。

問Ａ　袋の中に同じ大きさの赤球 4 個と白球 3 個が入っている。この袋から球を 1 個取り出し，その球と同じ色の球をもう 1 個加えて，2 個とも袋に戻す。この操作を 2 回繰り返すとき，2 回続けて赤球が出る確率は［ス］である。また，2 回目に赤球が出る確率は［セ］である。この操作を 3 回繰り返すとき，袋の中に赤球と白球が同数入っている確率は［ソ］である。

問Ｂ　△ABC において，AB＝6，BC＝5，CA＝4 とし，∠A の二等分線と辺 BC との交点を D，∠A の外角の二等分線と辺 BC の延長との交点を E とする。このとき，線分 BD の長さは［ス］であり，線分 CE の長さは［セ］である。また，辺 CA の中点を F とし，直線 EF と辺 AB との交点を G とするとき，線分 AG の長さは［ソ］である。

第３問（選択問題）　**問Ｃ**，**問Ｄ**いずれかを選択し，次の［　　］に当てはまる数式または数値等を，解答用紙のそれぞれの欄に書きなさい。

問Ｃ　△ABC において，BC＝4，CA＝3，∠ACB＝120°，辺 AB の中点を M，辺 BC を 4 : 3 に内分する点を D，辺 CA を 1 : 2 に内分する点を E とする。$\overrightarrow{CA}=\vec{a}$，$\overrightarrow{CB}=\vec{b}$ として，$\overrightarrow{CM}$ と $\overrightarrow{ME}$ を $\vec{a}$，$\vec{b}$ を用いて表すと，$\overrightarrow{CM}=$［タ］，$\overrightarrow{ME}=$［チ］である。また，$\overrightarrow{ME}$ と $\overrightarrow{MD}$ の内積は［ツ］である。

問D　正の偶数の列を次のような群に分け，第 n 群には $(2n-1)$ 個の数が入るようにする。

$$\underset{\text{第1群}}{2} \mid \underset{\text{第2群}}{4,\ 6,\ 8} \mid \underset{\text{第3群}}{10,\ 12,\ 14,\ 16,\ 18} \mid \cdots\cdots$$

このとき，第 8 群の最初の数は［タ］であり，第 8 群に含まれる数の総和は［チ］である。また，第 n 群に含まれる数の総和は［ツ］である。

第 4 問（必答問題）　次の問の解答を，過程を含めて指定の欄に記述しなさい。

ある国の太陽光発電量は 1 年に 20%ずつ増加している。また，風力発電量は 1 年に 25%ずつ増加している。これらの増加の比率は当分続くと仮定するとき，次の問に答えよ。ただし，$\log_{10} 2 = 0.3010$，$\log_{10} 3 = 0.4771$ とする。

(1) 20%の増加は前年比で何倍といえるか。既約分数で示せ。

(2) 4 年後の太陽光発電量は現在の約何倍といえるか。整数値で答えよ。

(3) 太陽光発電量がはじめて現在の 10 倍以上となるのは何年後であるか。整数値で答えよ。

(4) 現在の風力発電量は太陽光発電量の 2 分の 1 として，風力発電量が太陽光発電量を超えるのは何年後であるか。整数値で答えよ。

英語　総合型選抜入学試験［併願型］ 解答

■ 第1問

A　(1) 4　(2) 5　(3) 1　(4) 3　(5) 2

B　(1) 4－2－1－3　(2) 3－4－2－1

C　(1) 1　(2) 2　(3) 3　(4) 4　(5) 2　(6) 1　(7) 3　(8) 3　(9) 1　(10) 4
(11) 1　(12) 1　(13) 1　(14) 3　(15) 2　(16) 4

D　(1) 4　(2) 1

■ 第2問

A　(1) 4　(2) 2　(3) 3　(4) 3　(5) [1] 2　[2] 4　[3] 1　[4] 3

B　(1) [1] 2　[2] 4　[3] 3　[4] 2　[5] 1
(2) [6] 3　[7] 3　[8] 1　[9] 4
(3) [10] 1　[11] 1　[12] 2
(4) [13] The concept of the core of do practice is to become one with the action. Not thinking but doing is the essence of do practice.
[14] Zen masters' teaching mainly involved having students imitate the movements of the master. In repeating the movements, students learned to get rid of their thoughts, so that they might experience the eternal now.

英語　一般選抜入学試験［前期・専願型］ 解答

■ 第1問

A　(1) 3　(2) 2　(3) 5　(4) 1　(5) 4

B　(1) 3－1－4－2　(2) 4－2－3－1

C　(1) 4　(2) 4　(3) 1　(4) 4　(5) 3　(6) 1　(7) 4　(8) 1　(9) 2　(10) 4
(11) 1　(12) 2　(13) 1　(14) 2　(15) 3　(16) 3

D　(1) 3　(2) 1

■ 第2問

A　(1) 2　(2) 4　(3) 1　(4) 5　(5) [1] 3　[2] 2　[3] 4　[4] 1

B　(1) [1] 3　[2] 2　[3] 4　[4] 3　[5] 2　(2) [6] 1　[7] 3　[8] 4　[9] 2
(3) [10] 2　[11] 3　[12] 1
(4) [13] Japanese mothers want their children to be part of the group. The group is all important in Japan because the historical need for cooperation in rice-growing. American mothers want their children to become strong individuals, again for historical reasons, connected to the pioneering spirit that helped Americans settle the country.
[14] Negative children may have poor role models to copy; children may become passive and lose their individuality in the group. Positive less stressful for parents and children; children learn how to cooperate with other members of the group.

国語　総合型選抜入学試験[併願型] 解答

問1　①空疎　②起居　③鮮明　④無邪気　⑤性急

問2　エ

問3

Ⅰ　共通に理解　―　なって行く
Ⅱ　争って専門　―　せっている

問4

Ⅰ　知識にすぎないものの足し算
Ⅱ　1）ひとつの暗黙の了解のようなもの　2）言葉に出して教えられぬもの

問5　暗黙の了解

問6　エ

問7

Ⅰ　身辺のあら　―　仕事である
Ⅱ　本来ならばあらためていう必要もな
Ⅲ　奇妙な
Ⅳ　文明が病んでいるということの証拠

国語　一般選抜入学試験[前期・専願型] 解答

問1　①から　②掲載　③示唆　④駆使　⑤顕在　⑥またた　⑦ゆる　⑧変遷

問2

Ⅰ　属性を挙げて対象を記述すること
Ⅱ　対象の本質を明示的に記述すること　※順不同

問3

Ⅰ　互いに他を写した対構造
Ⅱ　“自己複製”システム　**(別解)** 自己複製を行うシステム、自己複製機構、生命の“自己複製”システム

問4

Ⅰ　ナチュラリスト　**(別解)** 今西錦司のようなナチュラリスト
Ⅱ　生命体とは　―　に過ぎない

問5　生命の仕組みを分子のレベルで解析すること

問6　予測と違っ　―　も書けない　ので

問7

Ⅰ　ⅰ 動的なもの　ⅱ 動的な平衡状態　ⅲ 動的平衡　※順不同
Ⅱ　ⅰ プラモデルのような静的なパーツから成り立っている　ⅱ パーツ自体のダイナミックな流れの中に成り立っている

問8　エ

問9　生命とは何か

数学　総合型選抜入学試験［併願型］ 解答

■ 第1問

問1　ア x^{12}　イ $-a^2$　ウ $12-15\sqrt{2}$　エ $-\dfrac{1}{2}$

問2　オ $\dfrac{1}{2}x(a-x)$　カ $2x^2-2ax+a^2$　キ $\dfrac{a^2}{2}$

問3　ク $5\sqrt{3}+5$　ケ $\dfrac{10\sqrt{3}}{3}$

問4　コ 8　サ 28　シ・ス 3・4　※順不同

■ 第2問

問A　セ $\dfrac{1}{22}$　ソ $\dfrac{3}{44}$　タ $\dfrac{29}{55}$

問B　セ $2:3$　ソ 12　タ $\dfrac{25}{4}$

■ 第3問

問C　チ $\sqrt{10}$　ツ $-\dfrac{\sqrt{5}}{5}$　テ $2\left(\sqrt{2}-1\right)$

問D　チ 2^n　ツ 2^n+1　テ $2^{n+1}+n-2$

■ 第4問

(1)　$f'(x)=-3x^2+12x-9$ より

$f(x)=\int(-3x^2+12x-9)\,dx$

$\quad=-x^3+6x^2-9x+C$

$f(3)=4$ より

$C=4$

$\therefore f(x)=-x^3+6x^2-9x+4$

(2)　$f'(x)=0$ について

$-3x^2+12x-9=0$

$x^2-4x+3=0$

$(x-1)(x-3)=0$

x	…	1	…	3	…
$f'(x)$	−	0	+	0	−
$f(x)$	↘	0	↗	4	↘

$x=1$ のとき　$f(x)=0$ より

$-x^3+6x^2-9x+4=0$ は　$x-1$ で割り切れる

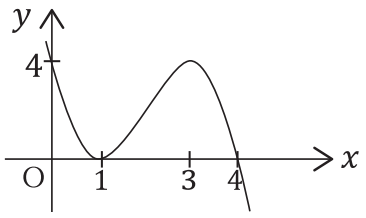
$$
\begin{array}{r}
-x^2+5x-4 \\
x-1\overline{)\,-x^3+6x^2-9x+4} \\
-x^3+x^2 \\
\hline
5x^2-9x \\
5x^2-5x \\
\hline
-4x+4 \\
-4x+4 \\
\hline
0
\end{array}
$$

$-x^3+6x^2-9x+4$

$=(x-1)(-x^2+5x-4)$

$=-(x-1)^2(x-4)$

$f(x)$ は $\left(4,\ 0\right)$ を通る



数学　一般選抜入学試験［前期・専願型］ 解答

■ 第1問

問1　ア $-72a^9b^8$　イ 4　ウ $-1+i$　エ 2

問2　オ $-\frac{5}{3}x+10$　カ $-\frac{5}{3}x^2+10x$　キ 15

問3　ク $\sqrt{6}$　ケ $\frac{9+3\sqrt{3}}{4}$

問4　コ $(0,\ 2)$　サ $(0,\ -\frac{1}{2})$　シ $\frac{5}{2}$

■ 第2問

問A　ス $\frac{5}{14}$　セ $\frac{4}{7}$　ソ $\frac{2}{7}$

問B　ス 3　セ 10　ソ $\frac{12}{5}$

■ 第3問

問C　タ $\frac{\vec{a}+\vec{b}}{2}$　チ $\frac{-\vec{a}-3\vec{b}}{6}$　ツ $-\frac{1}{4}$

問D　タ 100　チ 1710　ツ $2(2n-1)(n^2-n+1)$

■ 第4問

(1)　$\frac{6}{5}$

(2)　$\left(\frac{6}{5}\right)^4=\frac{1296}{625}=2.07\cdots$　　∴（約）2 倍

(3)　$\left(\frac{6}{5}\right)^n \geqq 10$ を解く

$\log_{10}\left(\frac{6}{5}\right)^n \geqq \log_{10} 10$

$n\log_{10}\frac{6}{5}\geqq 1$

$n(\log_{10}2+\log_{10}3-\log_{10}5)\geqq 1$

$n(\log_{10}2+\log_{10}3-(1-\log_{10}2))\geqq 1$　　$(\log_{10}5=\log_{10}\frac{10}{2}$ による）

$n(2\log_{10}2+\log_{10}3-1)\geqq 1$

$0.0791n\geqq 1$

$n\geqq 12.6$　　∴ 13 年後

(4)

$$\frac{\frac{1}{2}\left(\frac{5}{4}\right)^n}{\left(\frac{6}{5}\right)^n} = \frac{1}{2}\left(\frac{25}{24}\right)^n > 1 \text{ を解く}$$

$$n(\log_{10} 25 - \log_{10} 24) > \log_{10} 2$$

$$n(2 - 5\log_{10} 2 - \log_{10} 3) > \log_{10} 2$$

$$n\left(2 - 5 \cdot 0.3010 - 0.4771\right) > 0.3010$$

$$n > \frac{0.301}{0.0179} = 16.8\cdots \qquad \therefore 17 \text{ 年後}$$

オープンキャンパスに参加しよう！

2021年 7月31日(土)・8月1日(日)

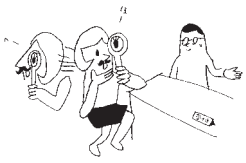
合格者である在学生や教員と話ができる「相談コーナー」や、入試の対策講座、入試参考作品の展示など入試の準備としても、とても役立つイベントです。この機会をお見逃しなく！

※実施内容は変更になる場合がありますので、必ず右のQRコードから大学HPをご覧ください。

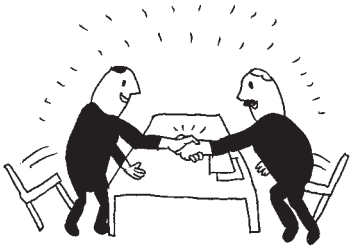
進学相談会

開催場所や日程は大学HPをチェック！

進学相談会では相談コーナーのほか、さまざまな資料の配布を行います。また、美術系大学のみの相談会場では入試参考作品の展示も行います。参加無料、事前申込も不要です。保護者の方もぜひご来場ください。



www.tuad.ac.jp/adm/soudan/



@tuad と友だちになろう!

芸工大の公式LINEアカウントに登録すると…

- **LINE相談会に参加できる**
- **イベント最新情報をゲットできる**

LINEアプリの友だちタブを開き、画面右上にある友だち追加ボタン＞[ID検索]をタップして、登録してください。

2021年度 入学試験問題・参考解答集
発行：2021年5月

東北芸術工科大学　入試広報課
〒990-9530　山形県山形市上桜田3-4-5
TEL：023-627-2011　FAX：023-627-8160
［ 高校生・受験生 専用ダイヤル ］
TEL：0120-27-8160　FAX：0120-57-2154